



CommandCenter Secure Gateway

ユーザ ガイド
リリース 5.1

Copyright © 2011 Raritan, Inc.
CC-0T-v5.1-J
2011 年 2 月
255-80-3100-00

このドキュメントには著作権によって保護されている所有者情報が含まれています。無断で転載することは、禁じられており、このドキュメントのどの部分も Raritan, Inc. (Raritan 社) より事前に書面による承諾を得ることなく複写、複製、他の言語へ翻訳することはできません。

© Copyright 2011 Raritan, Inc.、CommandCenter®、Dominion®、Paragon®、Raritan 社のロゴは、Raritan, Inc. の商標または登録商標です。無断で転載することは、禁じられています。Java® は Sun Microsystems, Inc. の登録商標、Internet Explorer® は Microsoft Corporation の登録商標です。また、Netscape® および Netscape Navigator® は Netscape Communication Corporation の登録商標です。その他すべての商標または登録商標は、その所有会社に帰属します。

FCC 情報

この装置は FCC 規則のパート 15 による Class A デジタル装置の制限に準拠することが試験により証明されています。これらの制限は、商業上の設置における有害な干渉を防止するために設けられています。この装置は、無線周波数を生成、利用、放射する可能性があるため、指示に従った設置および使用をしないと、無線通信への干渉を招く恐れがあります。この装置を居住環境で操作すると、干渉を招く場合があります。

VCCI 情報 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (V C C I) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

事故、自然災害、本来の用途とは異なる使用、不正使用、Raritan 社以外による製品の変更、その他 Raritan 社が関与しない範囲での使用や、通常の運用条件以外での使用による製品の故障については、Raritan 社は一切責任を負いかねます。



目次

はじめに	1
必要条件.....	1
用語/略語.....	2
CC-SG へのアクセス	3
アクセスの前に.....	3
サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンのインストール	4
ポップアップ ブロックの無効化	4
CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス	5
表示される可能性があるエラー メッセージ	5
同じ隣接システムの別の CC-SG ユニットへのアクセス.....	7
CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベースのアクセス	7
JRE 非互換性.....	8
シック クライアント アクセス	8
シック クライアントのインストール	8
シック クライアントを使用した CC-SG へのアクセス	10
Access Client クライアントからログアウトする	10
ノードの検索と表示	11
Access Client でのノードの検索と表示.....	11
CC-SG Access Client 画面の概要	11
ノード リスト	12
ノードの検索	14
Admin Client でのノードの検索と表示.....	14
CC-SG Admin Client 画面の概要.....	15
ノード アイコン	16
ノード表示.....	16
ノードの検索	17
インタフェースをブックマークに設定	19
カスタム表示	20
カスタム表示の種類	20
Access Client でのカスタム表示の使用.....	21
カスタム表示の追加	21
カスタム表示の適用	22
カスタム表示の変更	22
カスタム表示名の変更.....	22
カスタム表示の削除	23

デフォルトのカスタム表示の指定.....	23
デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定.....	23
Admin Client でのカスタム表示の使用.....	23
ノードのカスタム表示の追加.....	23
ノードのカスタム表示の適用.....	24
ノードのカスタム表示の変更.....	24
ノードのカスタム表示の削除.....	25
ノードのデフォルトのカスタム表示の指定.....	25
ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定.....	26

ノードへの接続 27

Access Client を使用したノードへの接続.....	28
[ノード プロファイル] 画面の概要: Access Client.....	29
Admin Client を使用したノードへの接続.....	31
[ノード プロファイル] 画面の概要: Admin Client.....	31
ノードにアクセスするためのアプリケーション.....	32
インタフェースについて.....	33
アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続.....	34
AKC を使用するため前提条件.....	38
アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続.....	38
初めてのシリアル インタフェースへのアクセス.....	39
iLO プロセッサが有効なノードへの接続.....	39
インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続.....	39
DRAC 5 接続の詳細.....	40
Java RDP 接続の詳細.....	40
Microsoft RDP 接続の詳細.....	41
接続モードについて.....	41
Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続.....	42
VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続する.....	43
VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する.....	43
vSphere 4 ユーザは新しいプラグインをインストールする必要がある.....	44

VMW Viewer インタフェースを使用してドライブまたはドライブ イメージをマウントする	45
Ctrl-Alt-Delete を仮想マシンに送信する	45
ノードからの切断	46
利用可能なセッションの最大数を超える接続	47
アップグレード後に古いバージョンのアプリケーションが開く	47

パワー制御 48

パワー制御インタフェースとは	48
複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント	49
パワー ステータス メッセージ	49
Access Client を使用したノードのパワー制御	50
シングル ノード パワー制御	50
ノード グループ パワー制御	52
Admin Client を使用したノードのパワー制御	53
単一のインタフェースからのパワー制御	53
シングル ノード パワー制御	53
ノード グループ パワー制御	54

ノード チャット 56

Access Client を使用したノード チャット	56
Admin Client を使用したノード チャット	56

プロファイル 58

Access Client のプロファイル	58
パスワードの変更	58
電子メール アドレスの変更	59
デフォルトのノード リストの設定	59
Admin Client のプロファイル	59
パスワードの変更	59
電子メール アドレスの変更	60
CC-SG フォント サイズの変更	60
検索設定の設定	61

ショートカット キー	62
------------	----

トラブルシューティング	63
-------------	----

Java キャッシュのクリア	64
ブラウザ キャッシュのクリア	65
Firefox 3.0 での VMware プラグインのインストール.....	65

索引	67
----	----

Ch 1

はじめに

このガイドの対象読者は、"ノード イン バンド アクセス" 権限、"ノード アウト オブ バンド アクセス" 権限、および "ノード パワー制御" 権限を付与されているユーザです。これらの権限を付与されているユーザは、ノードへの接続、ノードへのパワー制御、カスタム表示の作成、ノードの検索が可能になり、また、ノード チャットを使用して同じノードに接続している他のユーザと会話することもできます。

この章の内容

必要条件	1
用語/略語	2

必要条件

ノードに接続する前に、ノードを設定する必要があります。ノードに接続するために使用するアプリケーションも設定する必要があります。ノードとアプリケーションの詳細については、Raritan の『**CommandCenter Secure Gateway 管理者ガイド**』を参照してください。

用語/略語

- iLO/RILOE - CC-SG で管理可能な Hewlett Packard 社の Integrated Lights Out/Remote Insight Lights Out サーバです。iLO/RILOE デバイスのターゲットの電源は、直接オン、オフ、リセットされます。
- インバンド アクセス - TCP/IP ネットワーク経由で、ネットワークのノードを修正またはトラブルシューティングします。KVM およびシリアル デバイスに接続されたノードには、インバンド アプリケーションである RemoteDesktop Viewer、SSH Client、VNC Viewer を使ってアクセスできます。
- IPMI サーバ (Intelligent Platform Management Interface) – CC-SG で制御できるサーバです。
- アウト オブ バンド アクセス - Raritan Remote Client (RRC)、Raritan Console (RC)、Multi-Platform Client (MPC)、仮想 KVM クライアントなどのアプリケーションを使って、ネットワーク上にある KVM やシリアル デバイスに接続されたノードを修正またはトラブルシューティングします。
- ポート - Raritan デバイスとノード間の接続ポイントです。ポートは Raritan デバイスにのみ存在し、デバイスからノードへの経路を特定します。
- ノード - サーバ、デスクトップ PC、または他のネットワーク機器など、CC-SG ユーザがアクセスできるターゲット システムです。

CC-SG には、次の 2 つの方法でアクセスできます。

- ブラウザを介して: CC-SG では、Java ベースの CC-SG Admin Client と HTML ベースの CC-SG Access Client の 2 種類のブラウザベースのアクセス オプションが提供されています。
ブラウザおよびプラットフォームの詳細については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションの下の「Firmware and Documentation」セクションにある CC-SG の互換表を参照してください。
- シック クライアントを介して: ご使用のクライアント コンピュータに Java Web Start シック クライアントをインストールできます。シック クライアントはブラウザベースの CC-SG Admin Client と同様に機能します。

注: どのクライアントを使用する場合も、複数のユーザが同時に接続できます。

この章の内容

アクセスの前に	3
CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス	5
CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベースのアクセス	7
シック クライアント アクセス	8
Access Client クライアントからログアウトする	10

アクセスの前に

CC-SG には、ユーザの PC から Web ブラウザを通じてアクセスできます。サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンがインストールされ、ポップアップ ブロックが無効になっていることを確認してください。

サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンのインストール

Web ブラウザと CC-SG Admin Client を使用して CC-SG にアクセスするには、事前に適切なバージョンの JRE をインストールしておく必要があります。社内の管理者が推奨している JRE バージョンが、CC-SG が指定している最低条件の JRE バージョンと異なる場合があります。管理者に問い合わせ、必要な JRE バージョンを確認してください。

▶ Windows OS で JRE バージョンを確認するには

1. [コントロール パネル] を開きます。
2. [プログラムの追加と削除] をクリックします。現在インストールされているプログラムの一覧で、J2SE または Java 2 Runtime Environment のバージョン番号を確認します。

▶ JRE バージョンがご使用の CC-SG リリースと互換性があることを確認するには

[管理] > [互換表] を選択します。アプリケーション一覧で Sun JRE を探します。

▶ JRE をアップグレードするには

<http://java.sun.com/products/archive> 『
<http://java.sun.com/products/archive>参照』 にアクセスします。

ポップアップ ブロックの無効化

クライアント PC とブラウザでは、すべてのポップアップ ブロックを無効にしておく必要があります。

▶ Windows XP でポップアップ ブロックを無効にするには

1. [コントロール パネル] を開きます。
2. [インターネット オプション] をクリックします。
3. [プライバシー] タブをクリックします。
4. [ポップアップをブロックする] チェック ボックスをオフにします。
5. [適用]、[OK] の順にクリックします。

CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス

CC-SG Access Client は、ユーザの許可に応じてアクセス タスクの GUI を提供する、HTML ベースのクライアントです。

1. サポートされているブラウザを使用して、CC-SG の URL、http(s):
///IP アドレス (たとえば **http: //10.0.3.30** 『**https://10.0.3.30**参照』
または **https://10.0.3.30**) を入力します。ログイン ページが開きま
す。
2. CC-SG 管理者が制限付きサービス同意書を有効にしている場合は
、同意書のテキストを読み、[制限付きサービス同意書を理解の上、
同意します] のチェックボックスをオンにします。
3. [ユーザ名] と [パスワード] に値を入力し、[ログイン] をクリックし
ます。
4. ログインが成功すると、CC-SG Access Client のホーム ページが開
きます。

表示される可能性があるエラー メッセージ

アクセスできるノードが多数ある場合、CC-SG のロード中に以下のエ
ラー メッセージが表示される場合があります。

Internet Explorer の場合

「このページのスクリプトが、Internet Explorer の実行速度を遅くし
ています。スクリプトを実行し続けると、コンピュータが反応しなくな
る可能性があります。このスクリプトを中断しますか?」

Firefox 1.5 または 2.0 の場合

「A script on this page may be busy, or it may have stopped
responding. (このページのスクリプトは処理中または応答しなくなっ
ています。) You can stop the script now, or you can continue to see if
the script will complete. (今すぐスクリプトを停止するか、処理が完了
するまで待つか選択してください。)」

これらの警告メッセージは、スクリプトの実行が想定されたデフォルト
の時間より長くかかる場合に表示されます。

▶ これらのエラーを解決するには

- メッセージが表示されたら、スクリプトの実行を続行するオプショ
ンを選択します。

警告メッセージが繰り返し表示されるかどうかは、固有のクライア
ントやサーバの速度、およびロードするデータの量によって異なり
ます。

▶ **Internet Explorer** でスクリプトを実行できるデフォルトの時間を変更するには

手順については、Microsoft サポート技術情報 (KB) の記事 175500 を参照してください。

▶ **Firefox** でスクリプトを実行できるデフォルトの時間を変更するには

この設定の詳細については、dom.max_script_run_time に関する次の MozillaZine Knowledge Base の記事を参照してください。

http://kb.mozillazine.org/Dom.max_script_run_time

http://kb.mozillazine.org/Dom.max_script_run_time参照

1. Firefox で非表示の設定ページにアクセスします。
 - a. Firefox のアドレス バーに「about:config」と入力します。
 - b. 非表示の設定の一覧が表示されます。
2. [Filter (フィルタ)] フィールドに「dom.max_script_run_time」と入力します。一覧が更新され、項目が 1 つだけ表示されます。
3. dom.max_script_run_time を右クリックして、[Modify (変更)] をクリックします。
4. [Enter Integer value (整数値を入力してください。)] ダイアログ ボックスが表示されたら、100 などの大きな値を入力します。デフォルト値は 10 です。

同じ隣接システムの別の CC-SG ユニットへのアクセス

隣接システム機能のドロップダウン リストをサポートしているのは、Access Client だけです。隣接システム機能は、複数の CC-SG ユニットのグループ化するので、シングル サイン オンでこれらの CC-SG ユニットの切り替えることができます。

CC-SG 管理者が CC-SG Admin Client で隣接システム機能を設定していれば、アクセスしている CC-SG が隣接システムの有効なメンバである場合に、Access Client の上部に Secure Gateway ドロップダウン リストが表示されます。

別の CC-SG に切り替える場合は、そのシステムのアカウントを持っていることも必要になります。アカウントがない場合、認証は失敗します。

隣接システムのいずれかのメンバで制限付きサービス同意書に同意する場合は、その隣接システム内のすべてのメンバについても同意することを意味します。

▶ **同じ隣接システムの別の CC-SG ユニットにアクセスするには、以下の手順に従います。**

1. [Secure Gateway] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからアクセスする CC-SG ユニットを選択します。
2. [実行] をクリックします。

新しい CC-SG ユニットへのアクセスに成功した場合は、[すべてのノード] タブ、[お気に入り] タブ、および [最近使用] タブのノード リストがすべて変更され、新しい CC-SG で利用できるノードが表示されます。

CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベースのアクセス

CC-SG Admin Client は、ユーザの許可に応じて管理タスクとアクセスタスクの両方に GUI を提供する、Java ベースのクライアントです。

1. サポートされているインターネット ブラウザを使用して、CC-SG の URL に続けて「/admin」を入力し、http(s)://IP アドレス/admin (たとえば **http://10.0.3.30/admin** 『https://10.0.3.30/admin参照』 または https://10.0.3.30/admin) を入力します。

[JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウが表示された場合、クライアント コンピュータに適した JRE バージョンを選択し、インストールします。JRE がインストールされたら、この手順をもう一度試行してください。『**JRE 非互換性** 8p.』を参照してください。

あるいは新しい JRE バージョンをインストールしないで続行することができます。

2. 制限付きサービス同意書が表示されたら、その内容を読み、[制限付きサービス同意書を理解の上、同意します] チェックボックスを選択します。
3. [ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。
4. ログインが成功すると、CC-SG Admin Client が開きます。

JRE 非互換性

必要最小限のバージョンの JRE がクライアント コンピュータにインストールされていない場合に、CC-SG Admin クライアントへのアクセスを試みると、警告メッセージが表示されます。CC-SG がクライアント コンピュータに必要な JRE ファイルを見つけられないと、[JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウが開きます。

[JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウが表示された場合、クライアント コンピュータに適した JRE バージョンを選択してインストールするか、新しい JRE バージョンをインストールしないで続行することができます。

JRE がインストールされたら、CC-SG をもう一度起動する必要があります。

管理者は、推奨される最小限度の JRE バージョンおよび [JRE Incompatibility Warning] (JRE 非互換性警告) ウィンドウに表示されるメッセージを設定できます。「カスタム JRE 設定の定義」を参照してください。

シック クライアント アクセス

CC-SG シック クライアントを使用すると、Web ブラウザを介してアプリレットを実行する代わりに Java Web Start アプリケーションを起動して CC-SG に接続できます。Web ブラウザよりもシック クライアントの方が、速度と効率の面で優れています。CC-SG シック クライアントは、Java ベースの Admin Client と同じ機能を備えています。つまり、ユーザの許可に応じて管理タスクおよびアクセス タスクの GUI を提供します。シック クライアントの実行には、バージョン 1.6.0.10 以上の Java が必要です。

シック クライアントのインストール

1. CC-SG からシック クライアントをダウンロードするには、Web ブラウザを起動して、URL「http(s): //<IP_address>/install」と入力します。<IP_address> は、CC-SG の IP アドレスです。
2. セキュリティ警告メッセージが表示されたら、[開始] をクリックしてダウンロードを続行します。

3. ダウンロードが完了したら、**CC-SG** の IP アドレスを指定できる新規ウィンドウが表示されます。
4. [接続先 IP] フィールドにアクセスする **CC-SG** ユニットの IP アドレスを入力します。

接続後、このアドレスは [接続先 IP] ドロップダウン リストから使用できるようになります。IP アドレスは、ご使用のデスクトップに保存されているプロパティ ファイルに格納されます。

5. **CC-SG** がセキュアなブラウザ接続に設定されている場合は、[セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオンにする必要があります。**CC-SG** がセキュアなブラウザ接続に設定されていない場合は、[セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオフにする必要があります。この設定は正しくなければなりません。正しくない場合、シック クライアントは **CC-SG** に接続できません。
 - **CC-SG** の設定を確認するには、以下の手順に従います。[管理] > [セキュリティ] を選択します。[全般] タブで、[ブラウザ接続 プロトコル] フィールドを参照します。[HTTPS/SSL] オプションが選択されている場合は、シック クライアントの IP アドレス指定ウィンドウの [セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオンにする必要があります。[HTTP] オプションが選択されている場合は、シック クライアントの IP アドレス指定ウィンドウの [セキュア ソケット レイヤ (SSL)] チェックボックスをオフにする必要があります。
6. [開始] をクリックします。
マシン上のサポートされていない **Java Runtime Environment** バージョンを使用すると、警告メッセージが表示されます。プロンプトの表示に従って、サポートされている **Java** バージョンをダウンロードするか、現在インストールされているバージョンで続行します。
7. ログイン画面が表示され、シック クライアントはブラウザベースの **Java** クライアントと同様の表示および動作を行います。制限付きサービス同意書が有効になっている場合は、この同意書のテキストを読んでから、[制限付きサービス同意書を理解の上、同意します] チェックボックスをオンにします。
8. 対応するフィールドにユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックして続行します。

シック クライアントを使用した CC-SG へのアクセス

シック クライアントの実行には、バージョン 1.6.0.10 以上の Java が必要です。Java バージョン 1.6.0 もサポートされています。

シック クライアントがインストールされたら、ご使用のクライアントコンピュータで 2 通りの方法でこのシック クライアントにアクセスできます。

▶ **シック クライアントにアクセスするには、以下の手順に従います。**

- Java コントロール パネルの Java Application Cache Viewer からシック クライアントを起動します。
- Java コントロール パネルの Java Application Cache Viewer を使用して、デスクトップにシック クライアント用のショートカットアイコンをインストールします。

Access Client クライアントからログアウトする

Access Client を使用した作業が終了したら、いずれかの [ログアウト] リンクをクリックしてログアウトします。[ログアウト] リンクをクリックせずにブラウザ ウィンドウを閉じても、Access Client からログアウトされません。

隣接システムのアクティブなメンバである CC-SG からログアウトすると、すべての CC-SG ユニットからログアウトされ、隣接システム内のすべてのノードへの接続が終了します。

使用するクライアントに応じて、いくつかのノードの検索と表示の方法があります。

各クライアントのナビゲーションおよび検索機能を使用して、ノードの検索と表示を行う方法については、「**Access Client** でのノードの検索と表示 『11p. 』」および「**Admin Client** でのノードの検索と表示 『14p. 』」を参照してください。

各クライアントのカスタム表示機能を使用して、左パネルのノードの表示方法を指定する方法については、「**Access Client** でのカスタム表示の使用 『21p. 』」および「**Admin Client** でのカスタム表示の使用 『23p. 』」を参照してください。

この章の内容

Access Client でのノードの検索と表示	11
Admin Client でのノードの検索と表示.....	14
カスタム表示	20
Access Client でのカスタム表示の使用	21
Admin Client でのカスタム表示の使用.....	23

Access Client でのノードの検索と表示

CC-SG Access Client では、各ノードに関連付けられたインタフェースを介してノードに接続できます。各ノードには [ノードの詳細] 画面があり、関連付けられたアクセス可能なインタフェースがすべて一覧表示されます。ノードに仮想メディア機能がある場合は、そのノードで仮想メディアが有効になっているかどうか也表示されます。

左パネルのノード リスト ([すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用]) のいずれかでノードを 1 つクリックすると、選択されたノードの [ノードの詳細] 画面が表示されます。他のタブを表示した後は、画面上部の [ノード] タブをクリックして、選択したノードの [ノードの詳細] 画面に戻ることもできます。

CC-SG Access Client 画面の概要



1. [Secure Gateway] ドロップダウン リスト: 画面上部にドロップダウン リストが表示されます。これは、アクセス中の CC-SG ユニットの隣接システムの有効なメンバである場合のみ表示されます。このリストは、同じ隣接システムの複数の CC-SG ユニット間での切り替えに使用できます。

2. 現在の **CC-SG** 名: アクセス中の **CC-SG** ユニットの名前が左パネルの最上部に表示されます。
3. ユーザ ID と日付: **CC-SG** システムの日付と時刻、およびユーザ ID が画面左上部に表示されます。[ユーザ ID] リンクをクリックして、[プロフィール] タブを開きます。
4. 検索: 検索機能により、2 種類の方法でノードを検索できます。
5. ノード リスト: [検索] ボックスの下にノード リストがあります。それぞれのリストに各ノードのステータスを示すアイコンが表示されます。[すべてのノード] リストにはアクセスできるすべてのノードが一覧表示されます。[お気に入り] リストには、ユーザが指定したノード リストが表示されます。[お気に入り] ノード リストでは、ノードを追加、削除、並べ替えできます。[最近使用] リストには最近アクセスした 10 個のノードが表示されます。[ノード] タブを開くにはノードをクリックします。[ノード] タブでは選択したノードの詳細情報を示すノード プロファイルが表示されます。[ノード] タブでは、インタフェースに接続すること、他のユーザとチャットすること、および、パワー制御操作を実行することができます。
6. 役に立つリンク: [役に立つリンク] セクションには、**CC-SG Access Client** を起動するためのリンク (管理機能を実行する際に使用)、および、『**CommandCenter Secure Gateway ユーザ ガイド**』を開くためのリンクがあります。
7. ヘルプ: 画面下部に表示される [ヘルプ] セクションは、黒い矢印をクリックすることで、広げたり折りたたんだりすることができます。
8. メイン表示領域: メニュー バーやツール バーから選択するコマンドは、このメイン領域に表示されます。
9. ログアウト: **CC-SG** からログアウトするには [ログアウト] をクリックします。
10. ナビゲーション タブ: ナビゲーション タブは各画面上部に位置します。関連付けられた画面を開くにはタブをクリックします。

ノード リスト

CC-SG HTML Client の左パネルでは、複数の方法でノードを検出できます。3 つのリストが用意されており、それぞれノードを異なる観点から表示します。[すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用] という 3 つのリストがあります。それぞれのリストに各ノードのステータスを示すアイコンが表示されます。リストのいずれかでノードをクリックすると、ノード プロファイルが表示されます。

カスタム表示を作成して、ノードの表示方法を指定することもできます。詳細については、「**Access Client** でのカスタム表示の使用 『21p.』」を参照してください。

[すべてのノード] リスト

[すべてのノード] リストには、アクセスできるすべてのノードが一覧表示されます。カスタム表示を適用した場合は、[すべてのノード] リストの表示はカスタム表示の指定に従います。詳細については、「**カスタム表示** 『20p.』」を参照してください。

名前またはステータスによるノードのソート

[すべてのノード] リストを、ノード名またはノード ステータスでソートできます。

▶ ノードを名前でソートするには

1. [すべてのノード] リストを開きます。
2. [ノードのソート] の [名称] をクリックします。

▶ ノードをステータスでソートするには

1. [すべてのノード] リストを開きます。
2. [ノードのソート] の [ステータス] をクリックします。

[お気に入り] ノード リスト

[お気に入り] リストには、頻繁にアクセスするノードのリストをユーザーごとに作成できます。[お気に入り] ノード リストでは、ノードを追加、削除、並べ替えできます。

お気に入りにノードを追加

1. 左パネルの [すべてのノード] または [最近使用] リストをクリックします。
2. [お気に入り] に追加するノードをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
3. [ノードの詳細] 画面で、[お気に入りに追加] をクリックします。ブラウザ ウィンドウの下のステータス バーに確認メッセージが表示されると、[お気に入りに追加] リンクが [ノードの詳細] 画面に表示されなくなります。

お気に入りのノードのソート

1. 左パネルの [お気に入り] リストをクリックします。
2. [ソート] をクリックします。[お気に入りのソート] ウィンドウが表示されます。
3. [お気に入りのノード] リスト内のノードを [お気に入り] リストに表示したい順に並べます。ノードを選択し、そのノードが目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックしてノードを移動します。[名前でソート] をクリックすると、英数字の順序でノードが並べ替えられます。

4. [OK] をクリックして変更を保存します。

お気に入りからノードを削除

1. 左パネルの [お気に入り] リストをクリックします。
2. 削除するノードをクリックします。選択したノードの [ノードの詳細] 画面が表示されます。
3. [お気に入り] リストの [削除] をクリックして、リストからそのノードを削除します。

[最近使用] ノード リスト

「最近使用」リストには最近アクセスした 10 個のノードが表示されます。ノードをクリックすると、そのノードが [最近使用] リストの最上部に表示されます。

[最近使用] ノード リストのクリア

1. 左パネルの [最近使用] リストをクリックします。
2. [すべてクリア] をクリックすると [最近使用] リストがクリアされます。

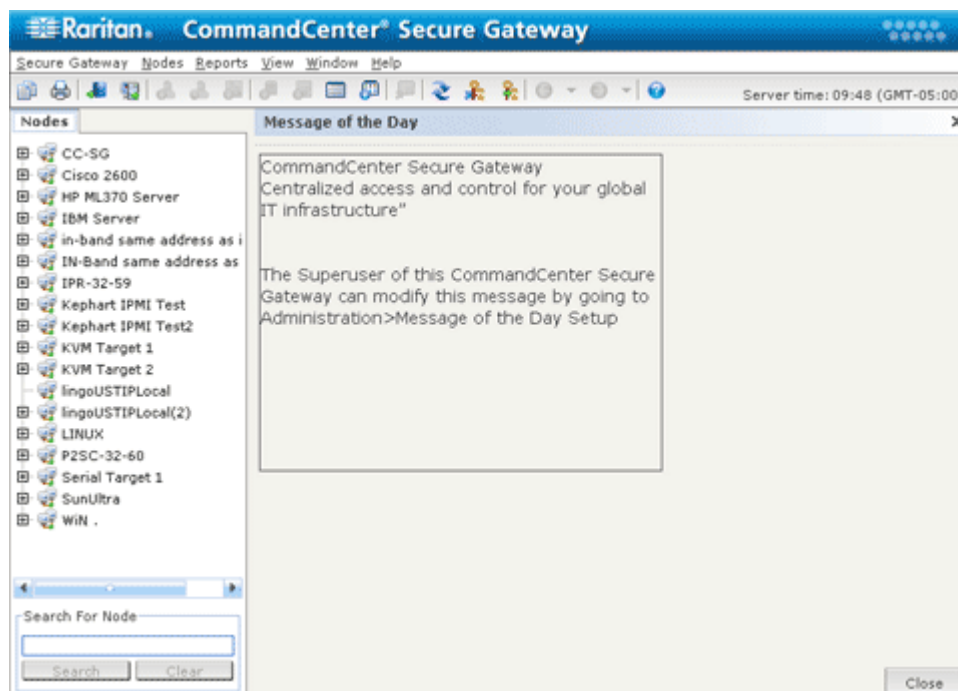
ノードの検索

1. 左パネルの上部にある [ノードの検索] フィールドに検索条件 (例: ノード名) を入力します。
2. 入力すると、検索条件に一致するノードが、選択したノード リストでハイライトされます。
 - [フィルタ] をクリックすると、検索条件に一致するノードのみがリストに表示されます。
 - [クリア] をクリックすると、すべてのノード リストが再ロードされ、検索条件は削除されます。

Admin Client でのノードの検索と表示

管理権限のないユーザとして Admin Client クライアントにログインすると、左側の [ノード] タブに、自分がアクセス可能なすべてのノードが表示されます。表示されるメニューは、その他のアクセス許可によって異なります。

CC-SG Admin Client 画面の概要



1. [ノード] タブ: ツリー表示で [ノード] をクリックしてすべてのノードを表示します。インタフェースは親ノードの下に分類されています。ツリーを広げるには、[+] をクリックします。ツリーを折りたたむには、[-] をクリックします。ノード プロファイルを表示するにはノードをクリックします。インタフェースを右クリックして、[接続] を選択し、そのインタフェースに接続します。ノードはノード名 (アルファベット順)、またはノード ステータス (利用可能、使用中、利用不可) でソートできます。ツリー表示を右クリックし、[ノード並べ替えオプション] をクリックして、[ノード名でソート] または [ノード ステータスでソート] をクリックします。
2. クイック コマンド ツールバー: このツールバーは、よく使うコマンドを実行するためのショートカット ボタンの役割を果たします。
3. 操作メニュー バー: このメニューには、CC-SG の操作コマンドが含まれています。これらのコマンドの一部は、[ノード] 選択タブに表示されているアイコンを右クリックしたときにも表示されます。表示されるメニューおよびメニューの項目は、ユーザ アクセス権限により決まります。
4. メイン表示領域: メニュー バーやツール バーから選択するコマンドは、このメイン領域に表示されます。
5. サーバ時間: CC-SG で設定された現在の時刻とタイム ゾーンです。この時間はクライアントで使用されている時間と異なる場合があります。

ノード アイコン

ノード ツリーでは、ステータスを区別しやすいように、ノード アイコンを色分けしています。

アイ コン	意味
	ノードは利用可能 - ノードには使用可能なインタフェースが少なくとも 1 つあります。
	ノードは利用不可能 - ノードのすべてのインタフェースは使用中です。

ノード表示

アクセスできるすべてのノードが、CC-SG Admin Client の左パネルの [ノード] タブに表示されます。

デフォルトでは、ノードは標準のツリー形式で表示されます。標準ツリー表示では、ノードはアルファベット順に並んでいます。順序を並べ替えるには、カスタム表示を作成します。カスタム表示を使用すると、CC-SG 管理者により割り当てられたカテゴリを基に、異なる基準でノードを分類できます。詳細については、「**Admin Client** でのカスタム表示の使用 『23p. 』」を参照してください。

また、ツリー表示とカスタム表示のいずれでも、名前別またはステータス別にノードを並べ替えることができます。

ツリー表示

標準ツリー表示では、ノードはアルファベット順に並んでいます。[ノード] タブでツリー表示を使用するには、以下の手順に従います。

- [ノード]>[表示の変更]>[ツリー ビュー] を選択します。ノードがツリー形式で表示される [ツリー表示] になります。
 - ノードは名前のアルファベット順に表示されます。
 - インタフェースは親ノードの下に分類されています。+ と - の記号をクリックすると、分類を広げたり折りたたんだりすることができます。
 - ツリー全体を広げたり折りたたんだりするには、画面上部にあるツールバーで [ツリーを広げる]  および [ツリーを折りたたむ]  の各アイコンをクリックします。

ノード並べ替えオプション

ツリー表示とカスタム表示のどちらでも、ノードをアルファベット順または可用性ステータス順で並べ替えることができます。

- [ノード] タブの空白の領域を右クリックし、[ノード並べ替えオプション] をクリックして、[ノード名でソート] または [ノード ステータスでソート] をクリックします。
 - [ノード名でソート] ではノード名のアルファベット順で並びます。
 - [ノード ステータスでソート] では可用性 (利用可能、使用中、利用不可) ごとに並びます。

ノードの検索

CC-SG の検索機能により、検索用語に一致するノードを検索できます。CC-SG には、[検索結果でフィルタ] および [一致する文字列の検索] という 2 種類の検索タイプがあります。

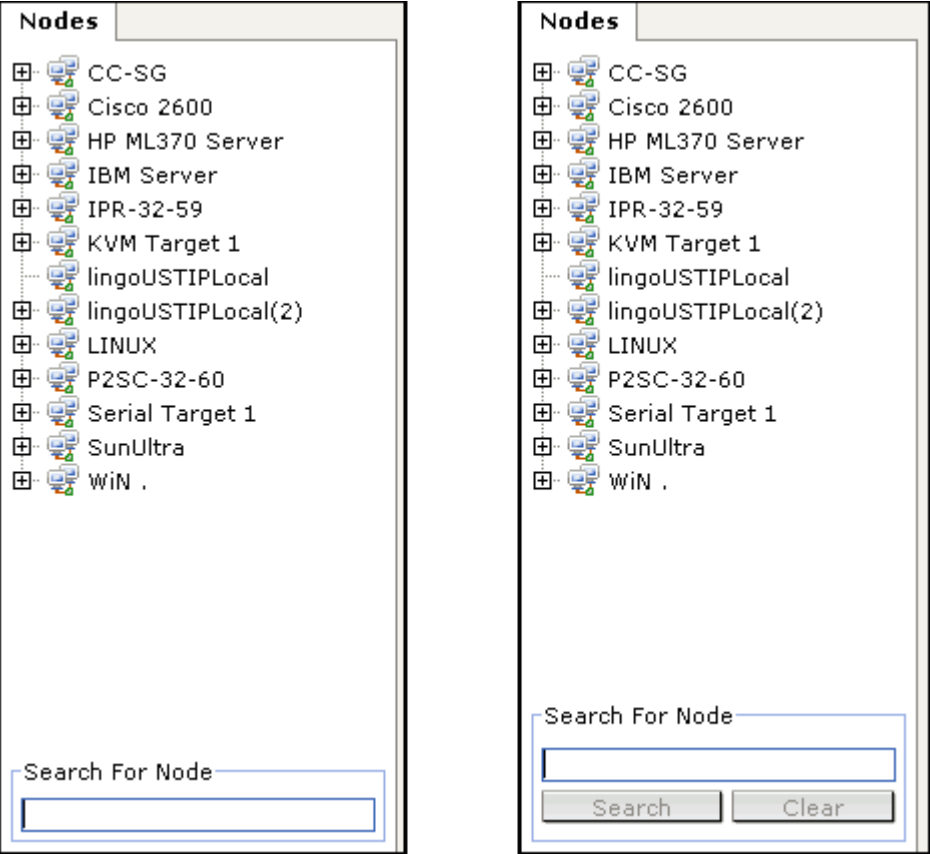
- [検索結果でフィルタ]: 検索条件を入力して [検索] をクリックすると、その検索条件に一致するノードが一覧表示されます。この検索タイプではワイルドカード (*) を使用できます。
- [一致する文字列の検索]: 検索条件を入力すると、ノード リスト内の、その検索条件に最も一致するノードがハイライトされます。[検索] ボタンはありません。この検索タイプではワイルドカード (*) は使用できません。

検索設定は CC-SG プロファイルで設定できます。プロファイルを表示するには、[Secure Gateway] メニューの [プロファイル] をクリックします。詳細については、「**検索設定の設定**『61p. 』」を参照してください。

ノードの検索

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノードの検索] フィールドに検索文字列を入力します。

3. 検索設定によって、検索条件に一致する最初のノードをノード ツリーでハイライトするか、または [検索] をクリックして検索条件に一致するノードのみをフィルタして一覧表示するかを選択できます。



ノードの検索で使えるワイルドカード

[検索結果でフィルタ] を [プロファイル] の検索設定として設定している場合は、次のワイルドカードがサポートされます。詳細については、「**検索設定の設定**『61p. 』」を参照してください。

ワイルドカード	説明	検索用語の例	検索結果の例
?	任意の文字を示す。	Solaris?	「Solaris1」や「SolarisN」はヒットしますが、「Solaris1Z」はヒットしません。
[-]	範囲内の文字を示す。	Windows[0-9][0-9][0-9][0-9]	「Windows2000」および「Windows2003 サーバ」がヒットします。

ワイルドカード	説明	検索用語の例	検索結果の例
*	0 か 1 文字以上の文字を示す。	Windows*	「Windows2000」はヒットしますが「Windows2003 サーバ」はヒットしません。

インタフェースをブックマークに設定

特定のインタフェースから頻繁にノードにアクセスする場合は、そのインタフェースをブックマークに設定すると、ブラウザから簡単に使用できます。

▶ ブラウザでインタフェースをブックマークに設定するには

1. [ノード] タブで、ブックマークに設定するインタフェースを選択します。インタフェースを表示するには、ノードを展開する必要があります。
2. [ノード] メニューの [ノード インタフェースをブックマークに設定] を選択します。
3. [URL をクリップボードにコピー] を選択します。
4. [OK] をクリックします。URL がクリップボードにコピーされます。
5. 新しいブラウザ ウィンドウを開き、URL をアドレス フィールドに貼り付けます。
6. Enter キーを押して URL に接続します。
7. URL をブックマーク ("お気に入り" と呼ばれます) としてブラウザに追加します。

▶ Internet Explorer でインタフェースをブックマークに設定する (インタフェースをお気に入りに追加する) には

1. [ノード] タブで、ブックマークに設定するインタフェースを選択します。インタフェースを表示するには、ノードを展開する必要があります。
2. [ノード] メニューの [ノード インタフェースをブックマークに設定] を選択します。
3. [ブックマークに追加 (IE のみ)] を選択します。
4. ブックマークのデフォルト名が [ブックマーク名] フィールドに表示されます。Internet Explorer の [お気に入り] リストに表示される名前を変更できます。
5. [OK] をクリックします。[お気に入りの追加] ウィンドウが表示されます。

6. [OK] をクリックして、[お気に入り] リストにブックマークを追加します。

▶ **ブックマークに設定したインタフェースにアクセスするには**

1. ブラウザ ウィンドウを開きます。
2. ブラウザのブックマークのリストから、ブックマークに設定したインタフェースを選択します。
3. **CC-SG Access Client** が表示されたら、インタフェースへのアクセス権を持つユーザとしてログインします。インタフェースへの接続が開始されます。

▶ **すべてのノードのブックマーク URL を取得するには、以下の手順に従います。**

- ノード資産レポートですべてのノードのブックマーク URL を取得できます。「ノード資産レポート」を参照してください。

カスタム表示

カスタム表示では、管理者が設定したカテゴリとノード グループを使用して、左パネルのノードの表示方法を指定できます。

CC-SG には、ノードをアルファベット順にソートする [ツリー表示] も用意されています。[ツリー表示] は変更を加えたり削除することはできません。

カスタム表示の種類

カスタム表示には、ノード グループ別のフィルタとカテゴリ別の表示という 2 種類があります。

カテゴリ別の表示

[カテゴリ別の表示] を適用した時点で、指定したカテゴリに分類されるすべてのノードがノード リストに表示されます。割り当てられているカテゴリがないノードは、「関連なし」として表示されます。

カテゴリとは

CC-SG 管理者は関連を設定することにより、装置を整理しやすくなります。各関連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリのサブセット) が含まれます。管理者によってカテゴリとエレメントがノードに割り当てられている場合は、ノードが属するカテゴリに基づいて、ノードを表示するカスタム表示を設定できます。

ノードに割り当てられているすべてのカテゴリとエレメントは、ノード詳細画面に表示されます。詳細については、「**CC-SG Access Client 画面の概要**『11p.』」を参照してください。

ノード グループでフィルタ

[ノード グループでフィルタ] カスタム表示を適用した時点で、指定したノード グループのみがノード リストに表示されます。組織の最初のレベルは、ノード グループ名です。カスタム表示で定義されている複数のノード グループにノードが属している場合は、ノードがリストに複数回表示されることがあります。カスタム表示で指定されたノード グループに属していないノードは、リストに表示されません。

ノード グループとは

CC-SG 管理者はノード グループを設定することにより、ノードを整理しやすくなります。管理者がノード グループを設定すると、ノード リストに表示するノード グループとその表示順序を指定して、カスタム表示を定義できます。

Access Client でのカスタム表示の使用

カスタム表示の追加

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [追加] をクリックして [表示の追加] ウィンドウを開きます。
3. 指定したノード グループのみを表示するカスタム表示を作成するには、[ノード グループでフィルタ] を選択します。指定したカテゴリに基づいてノードを表示するカスタム表示を作成するには、[カテゴリ別の表示] を選択します。
4. [表示の名前] フィールドにカスタム表示の名前を入力し、[OK] をクリックします。新しいカスタム表示名が、[カスタム表示] 画面の [表示の名前] フィールドに表示されます。
5. [利用可能] リストで、カスタム表示に追加する項目を選択して [追加] をクリックすることで、その項目を [選択中] リストに移動します。この手順を繰り返して、必要なすべてのカテゴリまたはノード グループを [選択中] リストに追加します。

6. [選択中] リスト内の項目を、[すべてのノード] リストに表示したい順に並べます。[選択中] リストで項目を選択し、その項目が目的の順序になるように上下の矢印ボタンをクリックして移動します。
7. "デバイス、ポート、およびノード管理" 権限を付与されている場合は、[システムの表示] チェック ボックスをオンにして、このカスタム表示をシステム全体のデフォルト表示として指定することができます。**(任意)**
8. [保存] をクリックしてカスタム表示を保存します。

カスタム表示の適用

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [すべてのノード] リストに適用するカスタム表示を選択します。
3. [表示を適用] をクリックすることで、選択したカスタム表示にしたがって [すべてのノード] リストをソートします。

カスタム表示の変更

ツリー表示は変更できません。

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] フィールドには、画面の [カテゴリ別の表示] セクションにカテゴリが表示されているカスタム表示名が表示されます。
3. [すべてのノード] リストに表示されるカテゴリまたはノード グループの順序を変更するには、[選択中] リスト内の項目をクリックしてから上下の矢印ボタンをクリックして、目的の順序になるように項目を移動します。
4. カスタム表示に項目を追加するには、[利用可能] リストから項目を選択し [追加] をクリックして、項目を [選択中] リストに移動します。
5. カスタム表示から項目を削除するには、[選択中] リストから項目を選択し [削除] をクリックします。
6. [保存] をクリックして変更を保存します。

カスタム表示名の変更

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、名前を変更するカスタム表示をリストから選択します。
3. [編集] をクリックして [表示の編集] ダイアログを開きます。
4. [表示の名前] フィールドにカスタム表示の新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。

カスタム表示の削除

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから削除するカスタム表示を選択します。
3. [削除] をクリックします。ツリー表示は削除できません。

デフォルトのカスタム表示の指定

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックし、デフォルトにするカスタム表示をリストから選択します。
3. [デフォルトに設定] をクリックします。

デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定

CC の設定と制御の権限がある場合は、デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定できます。

1. [カスタム表示] タブをクリックします。
2. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックして、システム全体のデフォルトの表示として指定するカスタム表示を選択します。
3. [システム表示] チェック ボックスをオンにします。
4. [保存] をクリックします。

CC-SG にログインするすべてのユーザに、選択したカスタム表示で指定されているカテゴリに従ってソートされた [すべてのノード] リストが表示されます。この場合でもユーザはカスタム表示を変更できます。

Admin Client でのカスタム表示の使用

ノードのカスタム表示の追加

▶ ノードのカスタム表示を追加するには、以下の手順に従います。

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を選択します。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [カスタム表示] パネルで、[追加] をクリックします。[カスタム表示の追加] ウィンドウが開きます。
4. 新しいカスタム表示の名前を [カスタム表示名] フィールドに入力します。
5. [カスタム表示タイプ] セクションで、次の操作を行います。

- 指定したノード グループのみを表示するカスタム表示を作成するには、[ノード グループでフィルタ] を選択します。
 - 指定したカテゴリに基づいてノードを表示するカスタム表示を作成するには、[カテゴリ別の表示] を選択します。
6. [OK] をクリックします。
 7. [カスタム表示の詳細] セクションで、次の操作を行います。
 - a. [利用可能] リストでカスタム表示に組み込む項目を選択し、[追加] をクリックして、その項目をリストに追加します。この手順を繰り返し、必要な数だけ項目を追加します。
 - b. [選択中] リストの項目は、[ノード] タブに表示する各グループの順序にします。項目を選択し、その項目が目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックして項目を移動します。
 - c. リストから項目を削除する場合は、項目を選択して [削除] をクリックします。
 8. [保存] をクリックします。メッセージが表示され、カスタム表示が追加されたことを確認します。
 9. 新しいカスタム表示を適用するには、[Set Current] (現在の表示に設定) をクリックします。

ノードのカスタム表示の適用

- ▶ **カスタム表示をノード リストに適用するには、以下の手順に従います。**

1. [ノード] > [表示の変更] > [カスタム表示] を選択します。[カスタム表示] 画面が表示されます。
2. [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。
3. [表示を適用] をクリックします。

または

- [ノード] メニューの [表示の変更] を選択します。定義済みのすべてのカスタム表示がポップアップ メニューにオプションとして表示されます。適用するカスタム表示を選択します。

ノードのカスタム表示の変更

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を選択します。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。[カスタム表示の詳細] パネルに、含まれる項目の詳細とその順番が表示されます。

▶ **カスタム表示名を変更するには**

1. [カスタム表示] パネルで [編集] をクリックします。[カスタム表示の編集] ウィンドウが開きます。
2. カスタム表示の新しい名前を [カスタム表示の新しい名前を入力] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。[カスタム表示] 画面の [名前] フィールドに新しい表示名が表示されます。

▶ **カスタム表示の内容を変更するには**

1. [カスタム表示の詳細] セクションで、次の操作を行います。
 - a. [利用可能] リストでカスタム表示に組み込む項目を選択し、[追加] をクリックして、その項目をリストに追加します。この手順を繰り返し、必要な数だけ項目を追加します。
 - b. [選択中] リストの項目は、[ノード] タブに表示する各グループの順序にします。項目を選択し、その項目が目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックして項目を移動します。
 - c. リストから項目を削除する場合は、項目を選択して [削除] をクリックします。
2. [保存] をクリックします。メッセージが表示され、カスタム表示が追加されたことを確認します。
3. 新しいカスタム表示を適用するには、[Set Current] (現在の表示に設定) をクリックします。

ノードのカスタム表示の削除

▶ **ノードのカスタム表示を削除するには、以下の手順に従います。**

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を選択します。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。[カスタム表示の詳細] パネルに、含まれる項目の詳細とその順番が表示されます。
4. [カスタム表示] パネルで [削除] をクリックします。[カスタム表示の削除] の確認メッセージが表示されます。
5. [はい] をクリックします。

ノードのデフォルトのカスタム表示の指定

▶ **ノードのデフォルトのカスタム表示を割り当てるには、以下の手順に従います。**

1. [ノード] タブをクリックします。

2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を選択します。[カスタム表示] 画面が表示されます。
3. [名前] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [カスタム表示] を選択します。
4. [カスタム表示] パネルで [デフォルトに設定] をクリックします。次回ログインするときに、選択したカスタム表示がデフォルトで使用されます。

ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定

CC の設定と制御の権限がある場合は、デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに指定できます。

► **ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザに割り当てるには、以下の手順に従います。**

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] メニューの [表示の変更] を選択し、さらに [カスタム表示の作成] を選択します。
3. [表示の名前] ドロップダウン矢印をクリックして、システム全体のデフォルト表示として割り当てるカスタム表示を選択します。
4. [システムの表示] チェックボックスを選択して、[保存] をクリックします。

CC-SG にログインするすべてのユーザに、選択したカスタム表示に従ってノードがソートされた [ノード] タブが表示されます。ユーザはカスタム表示を変更できます。

使用するクライアントの種類に応じて、いくつかのノードへの接続方法があります。ただし、ノードに接続した後、各インタフェース タイプのワークフローはどちらのクライアントでも同じです。詳細については、「**インタフェースについて**『33p.』」を参照してください。

各クライアントの接続方法については、「**Access Client を使用したノードへの接続**『28p.』」および「**Admin Client を使用したノードへの接続**『31p.』」を参照してください。

また、以下のセクションでワークフローの詳細と各インタフェース タイプの一般的なアプリケーションを確認してください。詳細については、「**ノードにアクセスするためのアプリケーション**『32p.』」を参照してください。

- **アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続**『34p.』
- **アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続**『38p.』
- **iLO プロセッサが有効なノードへの接続**『39p.』
- **インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続**『39p.』
- **Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続**『42p.』

ノードのパワー制御の処理は、使用するクライアントによって異なります。詳細については、「**Access Client を使用したノードのパワー制御**『50p.』」および「**Admin Client を使用したノードのパワー制御**『53p.』」を参照してください。

この章の内容

Access Client を使用したノードへの接続.....	28
Admin Client を使用したノードへの接続.....	31
ノードにアクセスするためのアプリケーション.....	32
インタフェースについて.....	33
アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続.....	34
アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続.....	38
iLO プロセッサが有効なノードへの接続.....	39
インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続.....	39
Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続.....	42
VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続する.....	43
VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する.....	43
VMW Viewer インタフェースを使用してドライブまたはドライブ イメージをマウントする.....	45
Ctrl-Alt-Delete を仮想マシンに送信する.....	45

ノードからの切断.....	46
利用可能なセッションの最大数を超える接続	47
アップグレード後に古いバージョンのアプリケーションが開く	47

Access Client を使用したノードへの接続

Access Client でノードに接続するには、2 つの方法があります。これらのオプションは、それぞれ関連付けられているアプリケーションを起動し、ノードに接続します。

- 左パネルのいずれかのノード リストで、ノードをダブルクリックします。
- [ノードの詳細] 画面の [インタフェース] セクションで、[名前] リンクをクリックします。

【ノード プロファイル】画面の概要: Access Client

Access Client では、[ノード] タブにノードのすべての詳細を表示できます。

左パネルのノード リスト ([すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用]) のいずれかでノードを 1 つクリックすると、[ノード] プロファイル画面が表示されます。他のタブを使用後に画面最上部の [ノード] タブをクリックして [ノード] プロファイル画面に戻ることもできます。

表示される情報と特徴

- 選択したノード名が [ノード プロファイル] 画面の先頭に表示されています。[お気に入りに追加] をクリックすると [お気に入り] リストにノードを追加できます。詳細については、「**[お気に入り] ノード リスト 『13p.』**」を参照してください。
- 選択したノードがブレード シャーシの場合、ブレード シャーシを管理しているデバイスの名前がノード名の下に表示されます。
- 選択したノードがブレード サーバの場合、サーバが常駐するブレード シャーシの名前が表示されます。ブレード サーバ モデルによっては、スロット番号も表示されることがあります。
- 同じノードに接続している他のユーザとチャットできます。詳細については、「**Access Client を使用したノード チャット 『56p.』**」を参照してください。
- ヘルプを表示するには、ノード プロファイルの下端にある [ヘルプ] セクションの内容を表示するか、または、[ヘルプ] タブをクリックしてすべてのヘルプ トピックを表示します。

タブ

- [インタフェース] タブには、選択したノードに関連付けられているインタフェースの接続タイプ、名前、ステータス、可用性、およびデバイス/IP アドレスが表示されます。[デバイス/IP アドレス] 列には、アウト オブ バンド インタフェースのデバイス名およびインバンド インタフェースの組み込みサーバ IP アドレスが表示されます。ノードに仮想メディア機能がある場合は、[仮想メディア] 列に [有効] または [無効] のステータスが表示されます。ノードに接続するには、[名前] リンクをクリックして関連アプリケーションを開き、ノードに接続します。[パワー制御] セクションには、選択したノードのすべての電源が表示されます。ノードに複数のパワー インタフェースがある場合は、[パワー制御] セクションの隣に [詳細] リンクが表示されます。詳細については、「**Access Client を使用したノードのパワー制御 『50p.』**」を参照してください。

- **[関連]** タブには、選択したノードに関連付けられたカテゴリとエレメントが表示されます。**CC-SG** 管理者は関連を設定することにより、**CC-SG** が管理する装置を整理しやすくします。各関連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリのサブセット) が含まれます。関連を使用して、[すべてのノード] リストをさまざまな方法で整理できるカスタム表示を作成できます。詳細については、「**カスタム表示** 『20p. 』」を参照してください。
- **[ロケーションと連絡先]** タブには、ノードの場所と連絡先 (例: 電話番号) に関する情報が表示されます。これらの情報は、ノード使用時に必要となることがあります。
- **[メモ]** タブには、ノードに関するメモを追加するためのツールがあります。このメモは、他ユーザに読んでもらうものです。すべてのメモがこのタブに表示されます。その際、メモが追加された日付、および、メモを追加したユーザの名前と IP アドレスも表示されます。
- **[監査]** タブには、ノードがアクセスされた理由が一覧表示されます。自分が所属するユーザ グループに対して管理者がノード監査機能を有効にしている場合、ノードに接続する前にその理由を入力する必要があります。ノード監査機能が無効になっている場合、または、ノードにアクセスする理由がまったく入力されていない場合、**[監査]** タブは表示されません。
- **[制御システム データ]** タブ、**[仮想ホスト データ]** タブ、および **[仮想マシン データ]** タブは、仮想基盤内のノードに対して表示されます。これらのタブには、仮想ノードに関する情報が表示されます。具体的に言うと、**[制御システム データ]** タブには制御システムに関する情報、**[仮想ホスト データ]** タブには仮想ホストに関する情報、**[仮想マシン データ]** タブには仮想マシンに関する情報がそれぞれ表示されます。
- **[ブレード]** タブは、ブレード シャーシ ノードに表示され、そのブレード シャーシに常駐するブレード サーバについての情報を含みます。

Admin Client を使用したノードへの接続

Admin Client でノードに接続するには、いくつかの方法があります。これらのオプションは、それぞれ関連付けられているアプリケーションを起動し、ノードに接続します。

- [ノード] タブでノードを選択して **Enter** キーを押すと、デフォルトのインタフェースを使用してノードに接続します。
- [ノード] タブでインタフェースを選択して **Enter** キーを押すと、選択したインタフェースを使用してノードに接続します。
- ノードのステータスが [利用可能] の場合に、[ノード] タブでノードをダブルクリックすると、デフォルトのインタフェースを使用してノードに接続します。ノードのステータスが [利用不可] の場合は、ノードをダブルクリックしても接続できません。
- インタフェースが作動中でその可用性が [アイドル] または [接続しました] の場合は、[ノード] タブでインタフェースのラベルをダブルクリックすると、選択インタフェースを使用してノードに接続します。インタフェースが停止しているか、または可用性が [使用中] の場合は、インタフェースをダブルクリックしても接続できません。
- ノード プロファイル画面でインタフェースのリンクをクリックすると、そのインタフェースを使用してノードに接続します。
- [ノード] タブでインタフェースを右クリックして、[接続] を選択します。

[ノード プロファイル] 画面の概要: Admin Client

Admin Client では、[ノード プロファイル] 画面にノードのすべての詳細を表示できます。[ノード プロファイル] 画面を開くには、[ノード] タブでノードを選択します。

- 選択したノード名が [ノード プロファイル] 画面の先頭に表示されています。
- [インタフェース] タブには、選択したノードに関連付けられているインタフェースの接続タイプ、名前、ステータス、可用性、およびデバイス/IP アドレスが表示されます。ノードに仮想メディア機能がある場合は、[仮想メディア] 列に [有効] または [無効] のステータスが表示されます。パワー制御用のインタフェースも [インタフェース] セクションに表示されます。詳細については、「**Admin Client を使用したノードのパワー制御**」『53p.』を参照してください。

注: インバンド iLO Processor KVM、インバンド DRAC KVM、インバンド RSA KVM の場合は、可用性は表示されません。

- **[関連]** タブには、選択したノードに関連付けられたカテゴリとエレメントが表示されます。**CC-SG** 管理者は関連を設定することにより、**CC-SG** が管理する装置を整理しやすくします。各関連には最上位の組織グループであるカテゴリと、それに関連するエレメント (カテゴリのサブセット) が含まれます。関連を使用して、[すべてのノード] リストをさまざまな方法で整理できるカスタム表示を作成できます。詳細については、「**カスタム表示** 『20p. 』」を参照してください。
- **[ロケーションと連絡先]** タブには、ノードの場所と連絡先 (例: 電話番号) に関する情報が表示されます。これらの情報は、ノード使用時に必要となることがあります。
- **[メモ]** タブには、ノードに関するメモを追加するためのツールがあります。このメモは、他ユーザに読んでもらうものです。すべてのメモがこのタブに表示されます。その際、メモが追加された日付、および、メモを追加したユーザの名前と IP アドレスも表示されます。
- **[監査]** タブには、ノードがアクセスされた理由が一覧表示されます。自分が所属するユーザ グループに対して管理者がノード監査機能を有効にしている場合、ノードに接続する前にその理由を入力する必要があります。ノード監査機能が無効になっている場合、または、ノードにアクセスする理由がまったく入力されていない場合、**[監査]** タブは表示されません。
- **[制御システム データ]** タブ、**[仮想ホスト データ]** タブ、および **[仮想マシン データ]** タブは、仮想基盤内のノードに対して表示されます。これらのタブには、仮想ノードに関する情報が表示されます。具体的に言うと、**[制御システム データ]** タブには制御システムに関する情報、**[仮想ホスト データ]** タブには仮想ホストに関する情報、**[仮想マシン データ]** タブには仮想マシンに関する情報がそれぞれ表示されます。
- **[ブレード]** タブは、ブレード シャーシ ノードに表示され、そのブレード シャーシに常駐するブレード サーバについての情報を含みます。

ノードにアクセスするためのアプリケーション

- アウト オブ バンド ノードに接続すると、そのノードに対するデフォルトの **Raritan** アプリケーションが起動します。

アプリケーションには、次のようなものがあります。

- Active KVM Client (AKC)
- Raritan Console (RC)
- Raritan Serial Console (RSC)
- Raritan Remote Client (RRC)
- Multi-Platform Client (MPC)

- 仮想 KVM クライアント

詳細については、Raritan の『**KVM and Serial Access Clients User Guide**』を参照してください。

このガイドは、Raritan の Web サイトの「Support」セクションの「Firmware and Documentation」にあります。

- イン バンド ノードまたは仮想ノードに接続すると、そのノードに対するベンダ製アプリケーションが起動します。

アプリケーションには、次のようなものがあります。

- DRAC
- Integrity ILO2 パワー制御
- ILO

インタフェースについて

各ノードには、そのノードに接続するためのインタフェースが 1 つ以上用意されています。

また、多数のインタフェース タイプがあり、それぞれにノードへのさまざまなアクセス タイプが用意されています。次の表に示す略語は、Admin Client の [ノード] タブでインタフェース名のプレフィックスとして使用されます。

インタフェースのタイプ	インタフェースの略語
アウト オブ バンド KVM	OOB-KVM
アウト オブ バンド シリアル	OOB-Serial
インバンド DRAC KVM	IB-DRAC
インバンド RSA KVM	IB-RSA
インバンド iLO Processor KVM	IB-ILO Processor
インバンド SSH	IB-SSH
インバンド VNC	IB-VNC
インバンド RDP	IB-RDP
インバンド Telnet	IB-TELNET
パワー制御: iLO Processor	PWR-ILO Processor
パワー制御: Integrity ILO2	PWR-Integrity ILO2
パワー制御: DRAC	PWR-DRAC
パワー制御: IPMI	PWR-IPMI
パワー制御: 管理対象電源タップ	PWR-PDU

インタフェースのタイプ	インタフェースの略語
パワー制御: Power IQ Proxy	PWR-PIQ
パワー制御: RSA	PWR-RSA
Web ブラウザ	WEB
VI クライアント	VIC
VMware Viewer	VMV
Virtual Power	Virtual PWR

▶ ノードに関連付けられているインタフェースを表示するには

ノードを選択して、[ノード プロファイル] 画面を開きます。そのノードに関連付けられているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。

Access Client では、[インタフェース] セクションにパワー制御インタフェースが表示されます。

▶ インタフェースの可用性を確認するには

ノード プロファイルの [インタフェース] セクションの [可用性] 列を確認することで、インタフェースが使用可能かどうかを把握できます。

可用性	意味
アイドル	インタフェースは未使用です。
接続しました	インタフェースは使用中ですが、他のユーザも利用できます。
使用中	インタフェースは使用中で、これ以上ユーザを受け入れられません。
アクセス不可	ブレード サーバ ノードへのパスはすべて使用中なので利用できません。

注: KX 1.4 デバイスに接続されているノードでは、可用性のカテゴリとして上記の「使用中」を使用しません。KX 1.4 に接続されているノードのインタフェースの可用性カテゴリに「接続しました」と表示されている場合は、「接続しました」と「使用中」のどちらかの状態と考えられます。

アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続

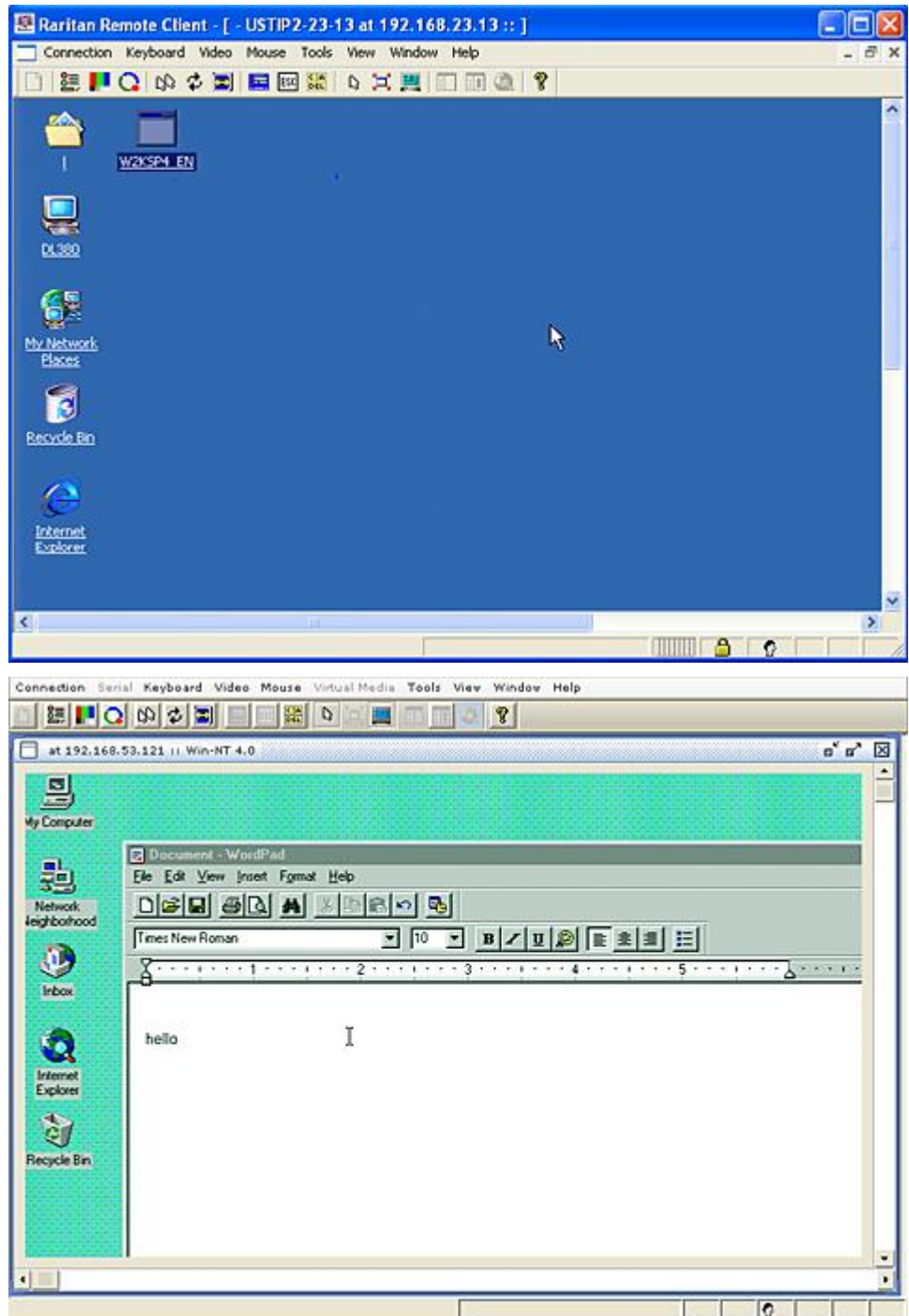
1. 接続するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。

[ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションに、すべての設定されたインタフェースが表示されます。

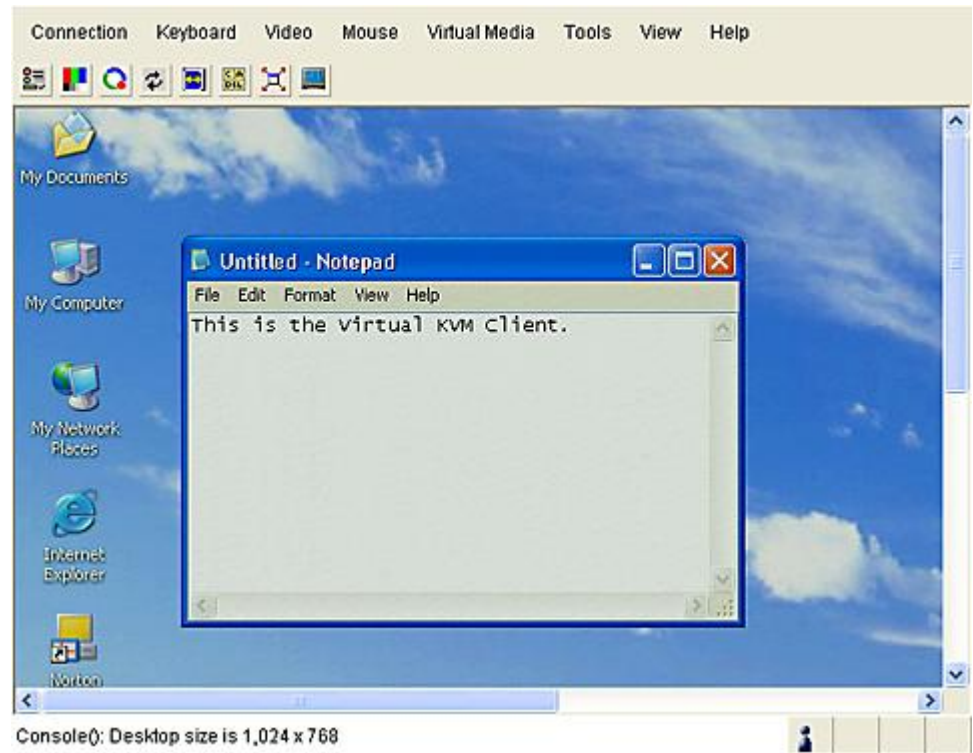
2. [名称] 列でノードへの接続に使用するアウト オブ バンド KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
3. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
4. RRC、MPC、仮想 KVM クライアント (VKC)、または Active KVM Client (AKC) アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。

注: Firefox 3.0.3 を使用している場合は、アプリケーションの起動で問題が発生することがあります。この場合は、ブラウザのキャッシュをクリアして、アプリケーションを再起動してください。

5. 接続ステータス ウィンドウが開きます。接続が確立されると、RRC、MPC、VKC、または AKC が開きます。



注: MPC アプリケーションを使用している場合、MPC のユーザ プロファイルは CC-SG にも保存されます。それ以後、MPC を使用してノードに接続すると、保存されている設定が MPC セッションにも適用されます。



注: .NET AKC の外観と動作は VKC に似ていますが、いくつかの例外があります。両方のクライアントの詳細は、Raritan の Web サイトにある Raritan の『KVM and Serial Access Clients User Guide』を参照してください。

6. RRC または VKC との接続を解除するには、[Connection (接続)] メニューの [終了] をクリックします。MPC との接続を解除するには、ウィンドウの右上隅にある "閉じる" ボタンをクリックします。

注: KVM ノードがスリープ モードで「ビデオ信号なし」と表示される場合は、キーボードのスペース バーを押してノードのスリープ モードを解除します。

AKC を使用するため前提条件

AKC を使用するには、以下の手順に従います。

- アクセスするデバイスの IP アドレスからの Cookie が現在ブロックされていないことを確認します。
- Windows Vista、Windows 7、および Windows 2008 Server のユーザは、アクセスするデバイスの IP アドレスがブラウザの [信頼済みサイト] ゾーンに含まれ、デバイスへのアクセス時に保護モードが有効になっていないことを確認する必要があります。

AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする

デバイス (または CC-SG) の管理者が [Enable AKC Download Server Certificate Validation] (AKC ダウンロード サーバ証明書の検証を有効にする) オプションを有効にした場合は、以下の手順に従います。

- 管理者は、有効な証明書をデバイスにアップロードするか、自己署名証明書をデバイスで生成する必要があります。証明書で有効なホストが指定されている必要があります。
- 各ユーザは、CA 証明書 (または自己署名証明書のコピー) をブラウザの信頼されたルート証明機関ストアに追加する必要があります。

CC-SG 管理クライアントから AKC を起動する場合は、JRE™ 1.6.0_10 以上が必要です。

アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続

1. 接続するノードを選択します。[ノード プロファイル] 画面が表示されます。
[ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションに、すべての設定されたインタフェースが表示されます。
2. [名称] 列で、ノードへの接続に使用するシリアル インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
3. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
4. RSC アプリケーションが新しいウィンドウで起動します。アプリケーションを使用してノードを管理します。
5. RSC によるポートの管理を終了する場合は、[Emulator (エミュレータ)] メニューの [終了] をクリックします。

初めてのシリアル インタフェースへのアクセス

ノードがコンソール アプリケーション用に設定されている場合は、コンソール アプレットが Raritan Systems の署名付きアプレットであることを示すセキュリティ警告が表示されます。[はい] をクリックすると、コンソールが表示されます。

重要: セキュリティ警告 (IE のみ表示) は、ユーザが初めてシリアル インタフェースに接続したときに表示されます。この画面が表示されたら [はい] をクリックします。[いいえ] をクリックすると、コンソール アプリケーションは起動しません。**CC-SG** を終了し、ブラウザを終了して再起動して、**CC-SG** に再接続する必要があります。

iLO プロセッサが有効なノードへの接続

1. ノード ツリーで、接続および管理する iLO/RILOE ノードを選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
2. [ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。
3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用する KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
4. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
5. HP のリモート コンソール アプレットが起動します。アプレットがロードされると、iLO/RILOE が有効なサーバへの KVM アクセスが可能になります。
6. Remote Console を使い終わったら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。

インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続

CC-SG は、SSH 対話的キーボード認証をサポートしているので、この認証メカニズムを SSH サーバで有効にできます。

1. ノード ツリーで、接続および管理するノードを選択します。[ノード プロファイル] ページが開きます。
2. [ノード プロファイル] 画面の [インタフェース] セクションに、すべての設定されたインタフェースが表示されます。
3. [名称] 列で、ノードへの接続に使用するインバンド KVM インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
4. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。

5. インタフェースによって、この手順は異なります。
 - SSH、TELNET、および VNC インタフェースでは、CC-SG 管理者がユーザ名とパスワードをインタフェースで設定していない場合、[アプリケーション起動パラメータ] ダイアログ ボックスが表示されます。[ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。
 - RDP インタフェースの場合、[アプリケーション起動パラメータ] ダイアログ ボックスが開きます。CC-SG 管理者がユーザ名とパスワードをインタフェースで設定していない場合は、ダイアログ ボックスでユーザ名とパスワードを入力する必要があります。このセッションで使用する画面サイズと色深度を選択します。Microsoft RDP のみの場合は、[Use Local Drives in Remote Session (リモート セッションでローカル ドライブを使用する)] チェックボックスをオンにして、ローカル クライアントからターゲットへのドライブのマウントを有効にします。[OK] をクリックします。
6. Remote Console アプレットが新しいウィンドウで起動します。アプレットがロードされると、KVM でノードにアクセスできるようになります。

注: インバンド KVM インタフェースにアクセスできない場合、他のユーザがこのインタフェースを使用中である可能性があります。

7. Remote Console を使い終わったら、ブラウザ ウィンドウを閉じます。

DRAC 5 接続の詳細

Internet Explorer を使用して DRAC 5 サーバに接続する場合は、DRAC 5 に有効な証明書がインストールされている必要があります。インストールされていない場合、Internet Explorer にエラーが表示されます。

証明書が信頼された CA によって署名されていない場合は、同じ証明書をブラウザの信頼されたルート証明機関ストアにもインストールします。

Java RDP 接続の詳細

- Java RDP インタフェースでは、Windows XP および Windows 2003 ターゲットがサポートされます。
- Java RDP をプロキシ モード接続に使用できます。「**接続モードについて『41p.』**」を参照してください。

Microsoft RDP 接続の詳細

- Windows XP クライアントを使用する場合は、CC-SG から Microsoft RDP インタフェースに接続するために Terminal Services クライアント 6.0 以上が必要です。Terminal Services クライアントを 6.0 に更新するには、<http://support.microsoft.com/kb/925876> を参照してください。
- Internet Explorer にのみ対応します。
- Microsoft RDP をプロキシ モード接続に使用することはできません。「**接続モードについて**『41p.』」を参照してください。
- サポートされているターゲットは、Vista、Windows Server 2008、Windows 7、およびそれ以前のすべての Windows リリース (Windows XP、Windows 2003 ターゲットなど) です。
- 使用方法などの Microsoft RDP についての詳細は、以下を参照してください。
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=469eee3a-45b4-4b40-b695-b678646a728b&displaylang=en>

接続モードについて

CC-SG は、インバンドおよびアウト オブ バンド接続用に「ダイレクト」、「プロキシ」、「両方」という 3 つの接続モードを提供します。

- ダイレクト モードでは、CC-SG 経由でデータを渡さずに、ノードやポートに直接接続できます。ダイレクト モードの接続の方が通常は高速です。
- プロキシ モードでは、すべてのデータを CC-SG 経由で渡すことにより、ノードやポートに接続できます。プロキシ モードでは、CC-SG サーバの負荷が大きくなるため、接続が低速になる場合があります。しかし、接続のセキュリティを重視する場合はプロキシモードが推奨されます。ファイアウォールで CC-SG の TCP ポート (80、8080、443、2400) を開いておく必要があります。

注: CC-SG 4.2 より、*Dominion KXII* リリース 2.1.10 以降を使用する場合にプロキシ モードで KVM データの暗号化がサポートされます。この構成では、KVM データは KXII デバイスのセキュリティ設定に従って暗号化されます。*Dominion KXII* 2.1.10 より前のデバイスでは、暗号化はサポートされません。

- 両方モードでは、ダイレクト モードとプロキシ モードの組み合わせを使用するように CC-SG を設定できます。両方モードの場合はプロキシ モードがデフォルトですが、指定した範囲のクライアント IP アドレスを使用して接続が行われたときはダイレクト モードを使用するように CC-SG を設定できます。

注: CC-SG でプロキシ モードを使用するように設定している場合であっても、一部のインタフェースはダイレクト モードでのみ機能します。

このようなインタフェースには、ILO、RSA、Microsoft RDP、DRAC、Web ブラウザ、VMware Viewer があります。Java RDP インタフェースはプロキシ モードで使用できます。「インタフェースについて」を参照してください。

Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続

Web ブラウザ インタフェースを使用すると、ブラウザを起動して、ノードに関連付けられている Web アプリケーションに接続できます。Web に対応したノードには、Raritan Dominion PX、および、RSA、DRAC、または ILO プロセッサ カードを搭載したノードがあります。

▶ Web ブラウザ インタフェースを使用してノードに接続するには

1. 左パネルのノード リストのいずれかで、Web アプリケーションを使用するノードを選択します。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
[ノードの詳細] 画面では、設定されているすべてのインタフェースが [インタフェース] セクションに表示されます。
2. [名称] 列で、ノードへの接続に使用する Web ブラウザ インタフェースのハイパーリンクをクリックします。
3. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
4. デフォルトのブラウザが起動し、Web ブラウザ インタフェースに関連付けられている URL が開きます。アクセスするのにログインが必要になる場合があります。
5. Web アプリケーションを使い終えたら、ブラウザ ウィンドウを閉じて接続を終了します。

VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続する

Internet Explorer を使用している場合、Cookie 処理に関する次のオプションを有効にする必要があります。Internet Explorer で [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。[プライバシー] タブをクリックし、[詳細設定] をクリックします。[自動 Cookie 処理を上書きする] チェック ボックスをオンにします。[ファースト パーティの Cookie] および [サード パーティの Cookie] でそれぞれ [受ける] をクリックします。[常にセッション Cookie を許可する] チェック ボックスをオンにします。

▶ VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続するには、以下の手順に従います。

1. 左パネルのノード リストのいずれかで、接続したい制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードを選択します。
2. [インタフェース] タブで [VI Client interface (VI クライアント インタフェース)] をクリックします。
3. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
4. ユーザ名とパスワードを入力するよう要求された場合は、入力します。シングルサインオンが有効になっている場合、VMware Virtual Infrastructure Web Access クライアントに直接接続されます。

VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する

Windows 上で Firefox を使用している場合、VMW Viewer インタフェースに接続する前に、CC-SG の IP アドレスを [許可サイト - アドオンのインストール] 一覧および [許可サイト - ポップアップ] 一覧に追加しておく必要があります。

サポート対象ブラウザを使用して仮想マシンに初めて接続する場合、VMware からアドオンをダウンロードするよう要求されることがあります。この場合、アドオンをインストールした後、ブラウザを再起動します。アドオンのインストールに失敗する場合は、「**Firefox 3.0** での **VMware プラグインのインストール**」『65p.』を参照してください。

▶ VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続するには、以下の手順に従います。

1. 左パネルのノード リストのいずれかで、接続したい仮想マシン ノードを選択します。
2. [インタフェース] タブで [VMW Viewer interface (VMW Viewer インタフェース)] をクリックします。

3. 自分が所属するユーザ グループに対してノード監査機能が有効になっている場合、[アクセス情報] ダイアログ ボックスが開きます。そのノードにアクセスする理由を入力し、[OK] をクリックします。
4. [Virtual Machine Remote Console (仮想マシン Remote Console)] ウィンドウが開きます。

vSphere 4 ユーザは新しいプラグインをインストールする必要がある

仮想環境を前のバージョンから vSphere 4 にアップグレードする場合は、VMware リモート コンソール プラグインをブラウザから削除する必要があります。プラグインを削除したら、vSphere4 の正しいプラグインは、次回 CCSG から仮想マシンに接続するときにインストールされます。

▶ **Internet Explorer から古いプラグインを削除するには、以下の手順に従います。**

1. [ツール] > [Manage Add-Ons(アドオンの管理)] > [Enable Add-Ons(アドオンの有効化)] または [Disable Add-Ons(アドオンの無効化)] を選択します。
2. 表示リストの [Add-Ons that have been used by Internet Explorer(Internet Explorer で使用されたアドオン)] を選択します。
3. [VMware Remote Console Plug-in(VMware リモート コンソール プラグイン)] まで下にスクロールして、それを選択します。
4. [Delete Active-X(Active-X の削除)] ボタンが有効になります。古いプラグインをクリックして削除します。
 - 削除ボタンが有効にならない場合は、コントロール パネル > [プログラムの追加と削除] に移動して、より古い VI クライアントを調べます。VI クライアント 2.5 がインストールされている場合は、それをアンインストールします。VI クライアント 2.5 をアンインストールした後に、プラグインが削除されます。

▶ **Firefox ユーザから古いプラグインを削除するには、以下の手順に従います。**

1. [ツール] > [Add-Ons(アドオン)] を選択します。
2. [Plug-Ins(プラグイン)] タブをクリックします。
3. 古いプラグインを選択し、[Disable(無効化)] をクリックします。

▶ **新しいプラグインをインストールするには、以下の手順に従います。**

1. 古いプラグインを削除したら、CCSG にログインして仮想マシンに接続します。
2. vSphere 4 のプラグインをインストールするよう要求されます。

VMW Viewer インタフェースを使用してドライブまたはドライブ イメージをマウントする

VMW Viewer インタフェースを使用して起動されると、仮想マシンのリモート コンソールの [デバイス] メニューでは、次の機能がサポートされます。これは、vSphere 4.0 でしかサポートされていません。

- ESX ホストまたはクライアント コンピュータから CD/DVD ドライブをマウントする
- ISO イメージを参照する
- ESX ホストからフロッピー ドライブをマウントする
- フロッピー イメージを参照する

▶ 仮想マシン リモート コンソールのマウント機能にアクセスするには、以下の手順に従います。

1. 仮想マシンに接続します。「**VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する** 『43p. 』」を参照してください。
2. リモート コンソールの [デバイス] メニューを選択すると、マウント用のメニュー項目が表示されます。

Ctrl-Alt-Delete を仮想マシンに送信する

仮想マシンでキーボードとマウスを制御している場合でも、Ctrl-Alt-Delete は仮想マシンとホスト オペレーティング システムの両方で処理されます。

Ctrl-Alt-Delete を仮想マシンにのみ送信するには、代わりに Ctrl-Alt-Insert を入力します。

ノードからの切断

ノードから切断するには、いくつかの方法があります。使用するクライアントの手順に従ってください。

▶ **Access Client** を使用してノードから切断するには

ノードの管理に使用していたアプリケーションを閉じます。

▶ **Admin Client** を使用してノードから切断するには、以下の手順に従います。

- [ノード] タブで、切断するアクティブ ノードを選択します。[ノード] > [切断] を選択します。
- [ノード] タブで、切断するアクティブ ノードを右クリックし、[切断] をクリックします。
- [ノード] タブで、ノードの接続に使用しているアクティブ インタフェースを右クリックし、[切断] をクリックします。
- ノードの管理に使用していたアプリケーションを閉じます。

注 1: 標準ユーザは、自分で接続を開始しなかったノードから切断することはできません。

注 2: CC スーパーユーザの場合は、**Admin Client** で、任意のユーザのノード接続セッション (別の CC スーパーユーザが開始したものも含む) を切断できます。

注 3: CC-SG 管理者の場合は、**Admin Client** で、任意のユーザのノード接続セッション (CC スーパーユーザが開始したものを除く) を切断できます。

利用可能なセッションの最大数を超える接続

メンバが Dominion KX、KXII、および KSXII デバイスにアクセスするときに、1 人のユーザに許可される特定のデバイスへの KVM セッション数が制限されるように CC-SG ユーザ グループを設定できます。これにより、1 人のユーザが利用可能なすべてのチャンネルを一度に使用することはできなくなります。

制限に達した場合は、現在のセッションに関する情報を含む以下の警告メッセージが表示されます。

Connection Denied: Exceeds the allotted number of sessions for the KVM switch this node is attached to. (接続が拒否されました: このノードの接続先 KVM スイッチに割り当てられているセッション数を超えました。)

別の新しいセッションを開始する前に、デバイスでセッションを切断する必要があります。

アップグレード後に古いバージョンのアプリケーションが開く

接続を試行すると、想定される最新バージョンのアプリケーションではなく、古いバージョンが開く場合は、Java キャッシュをクリアします。これは、CC-SG をアップグレードしてからキャッシュをクリアしていない場合に発生する可能性があります。

「**Java キャッシュのクリア** 『64p. 』」を参照してください。

CC-SG では、パワー インタフェースが関連付けられた単一ノードまたはノード グループのパワーを制御できます。

電源オン、電源オフ、電源のリセット、および正常なシャットダウンを実行できます。また、仮想ノードに対して中断操作を実行できます。

ノードで正常なシャットダウンを実行すると、新たなプロセスを開始せず、現在実行中のすべてのプロセスを完了できるため、プロセスを中断することなくノードをシャットダウンできます。ノードのタイプによっては正常なシャットダウンが使用できないことがあります。

この章の内容

パワー制御インタフェースとは	48
複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント	49
パワー ステータス メッセージ	49
Access Client を使用したノードのパワー制御	50
Admin Client を使用したノードのパワー制御	53

パワー制御インタフェースとは

パワー制御インタフェースは、ノードへの電源供給を制御します。

パワー制御インタフェースには、次のようなものがあります。

- IPMI、iLO、Integrity ILO2、DRAC、RSA など、ノードのパワーを直接制御するインバンド パワー制御インタフェース
- サージ プロテクタまたは **Dominion PX** デバイスのコンセントを使用してノードのパワーを制御する管理対象サージ プロテクタ インタフェース
- 仮想マシンへの給電を制御する仮想パワー インタフェース
- Power IQ によって管理されている IT デバイスへの給電を制御する Power IQ Proxy インタフェース

複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント

電源をオン・オフ (リセット) する場合は、次のヒントに従ってください。

- 二重化電源を備えたサーバ
 - 管理対象サージ プロテクタのコンセントにも接続する管理カードが組み込まれたサーバ
1. 二重化電源を備えたサーバの電源をリセットする場合は、両方の管理対象サージ プロテクタ インタフェースが選択されていること、およびこれらのインタフェースが選択したインタフェースのリスト内で相互に近い位置にあることを確認します。これは、グループにおけるインタフェースの順序に基づいて実行順序が決まるからです。
 2. Raritan 管理対象サージ プロテクタにも接続する管理カードが組み込まれたサーバの電源をリセットする場合は、管理対象サージ プロテクタ インタフェースまたは組み込みのパワー インタフェースのどちらか一方を選択して、パワー制御操作を実行します。両方のインタフェースを選択すると、コマンドのタイミングによってはサーバの電源をリセットできない場合があります。
 3. パワー制御コマンドを管理対象サージ プロテクタまたは組み込みのサーバ管理カードに発行するのに、約 1 秒かかります。

詳細については、「**Access Client を使用したノードのパワー制御**」『50p.』および「**Admin Client を使用したノードのパワー制御**」『53p.』を参照してください。

パワー ステータス メッセージ

パワー制御操作を開始すると、[パワー ステータスのメッセージ] ウィンドウが開きます。このウィンドウは、すべてのパワー制御操作が完了するまで開いておく必要があります。

[Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウは、サイズの変更、最小化、または最大化が可能です。また、ウィンドウ内のテキストを選択し、コピーして貼り付けることができます。

[Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウのメッセージは、パワー制御操作のステータスに関する新しい情報を受け取ると更新されます。

新しいメッセージがこのウィンドウに表示されるのは、以下の場合です。

- パワー制御操作のリクエストが送信された場合。
- パワー制御操作が失敗した場合。
- パワー制御操作が正常に完了した場合。

- 要求されたすべてのパワー制御操作が正常に完了した場合。
- ▶ **[Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウを閉じた場合にステータス更新情報を取得する方法**
 - パワー制御操作が失敗した場合は、失敗した操作に関する情報を示す警告メッセージが表示されます。
 - 操作全体が正常に完了した場合は、ブラウザ ウィンドウの下部のステータス バーに警告メッセージが表示されます。
 - 警告メッセージが表示されるのは、操作が失敗した場合のみです。操作が正常に完了した場合は、警告メッセージは表示されません。

Access Client を使用したノードのパワー制御

Access Client には、ノードおよびノード グループのパワー制御を行うための方法がいくつか用意されています。

シングル ノード パワー制御

シングル ノード パワー制御では、単一ノード内のすべてのインタフェースまたは選択されたインタフェースのパワーを制御できます。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定の詳細については、「**複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント** 『49p. 』」を参照してください。

▶ 単一ノードのすべてのインタフェースのパワー制御

1. 左パネルのノード リストのいずれかで、パワーを制御するノードをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
2. [パワー制御] セクションで、[オン]、[オフ]、[サイクル] (電源のリセット)、[正常なシャットダウン]、または [中断] をクリックして、そのノードに関連付けられたすべてのインタフェースへのパワー制御操作を実行します。
3. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。進行状況を監視できるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておいてください。
4. CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「**パワー ステータス メッセージ** 『49p. 』」を参照してください。

▶ 単一ノードの複数のインタフェースのパワー制御

ノードが二重化電源を備えている場合は、電源ごとにパワー制御インタフェースが必要です。シングル ノード パワー制御では、1 つまたは複数のインタフェースに対してパワー制御操作を実行できます。

1. 複数のインタフェースの [シングル ノード パワー制御] へのアクセス方法は 2 通りあります。
 - a. 画面の上部にある [パワー制御] タブをクリックし、[シングル ノード パワー制御] をクリックして [シングル ノード パワー制御] 画面を開きます。
 - b. 左パネルのノード リストのいずれかで、パワー制御するノードをクリックし、選択されたノードの [ノードの詳細] 画面にある [パワー制御] セクションの [詳細] をクリックします。
2. [ノード] ドロップダウン矢印をクリックし、リストからパワー制御するノードを選択します。[利用可能] リストに、選択されたノードのすべてのインタフェースが表示されます。
3. [利用可能] リストで、パワー制御を実行する特定のインタフェースを選択して [追加] をクリックすることで、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで繰り返します。
4. [選択中] リスト内のインタフェースを、CC-SG でパワー制御操作を実行したい順に並べ替えます。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックしてインタフェースを移動します。
5. [操作] ドロップダウン矢印をクリックして、[オン]、[オフ]、[サイクル] (電源のリセット)、[正常なシャットダウン]、または [中断] をリストから選択します。
6. 複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を 0 ～ 120 の秒数で入力します。
7. [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。処理の開始を意味する確認ウィンドウが開くので、[OK] をクリックします。
8. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。進行状況を監視できるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておいてください。

CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「パワー ステータス メッセージ『49p.』」を参照してください。

ノード グループ パワー制御

ノード グループ パワー制御では、ノード グループ内のノードに関連付けられている、すべてのインタフェースまたは選択したインタフェースのパワーを制御できます。電源オンおよび電源オフの操作では、電源をオンまたはオフするインタフェースの順序を選択できます。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定の詳細については、「**複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント**『49p.』」を参照してください。

▶ ノード グループ内のすべてのまたは選択されたインタフェースをパワー制御するには

1. 画面の上部にある [パワー制御] タブをクリックし、[ノード グループ] をクリックして [グループ パワー制御] 画面を開きます。
2. [ノード グループ] ドロップダウン矢印をクリックし、パワー制御するノード グループをリストから選択します。[パワー制御用のインタフェース] に、選択したノード グループのすべてのインタフェースが表示されます。
3. 利用可能なインタフェースのリストをフィルタする場合は、[ノード]、[インタフェースのタイプ]、および [デバイス] ドロップダウン メニューからオプションを選択します。オプションを選択すると、[パワー制御用のインタフェース] の表が更新され、パワー操作の対象となるインタフェースのリストが表示されます。**(任意)**
4. パワー操作の対象外とするパワー インタフェースの横のチェックボックスをオフにします。**(任意)**
5. [操作] ドロップダウン矢印をクリックして、[オン]、[オフ]、[サイクル] (電源のリセット)、[正常なシャットダウン]、または [中断] をリストから選択します。
6. 複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を 0 ～ 120 の秒数で入力します。
7. [OK] をクリックして、パワー制御操作を開始します。
8. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。進行状況を監視できるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておいてください。

CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「**パワー ステータス メッセージ**『49p.』」を参照してください。

Admin Client を使用したノードのパワー制御

Admin Client には、ノードおよびノード グループのパワー制御を行うための方法がいくつか用意されています。

単一のインタフェースからのパワー制御

CC-SG Admin Client では、パワー制御は、特定のパワー制御インタフェース上で右クリックし、メニューから目的のパワー操作を選択することで実行できます。

1. [ノード] タブで、パワー制御インタフェースを右クリックして、実行するパワー操作をクリックします。[パワー制御] 画面が表示されます。
2. 選択されたインタフェースは [選択中] リストに表示されます。右クリック メニューで選択したパワー制御が、[操作] フィールドに表示されます。
3. [OK] をクリックして、パワー操作のリクエストをノードに送信します。画面に、確認メッセージが表示されます。
4. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。進行状況を監視できるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておいてください。
5. CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「**パワー ステータス メッセージ『49p.』**」を参照してください。

シングル ノード パワー制御

パワー インタフェースに関連付けられた単一ノードを、電源オン、電源オフ、電源のリセット、および正常にシャットダウンすることができます。ノードに複数のパワー インタフェースがある場合は、パワー制御操作で使用するインタフェースを選択できます。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定の詳細については、「**複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント『49p.』**」を参照してください。

1. [ノード] タブをクリックします。
2. パワー制御を実行するノードを選択します。
3. [ノード] > [パワー制御] を選択します。[パワー制御] 画面が表示されます。
4. 選択されたノードの名前が [ノード] フィールドに表示されます。
5. ノードのパワー インタフェースが [選択中] リストに表示されます。

6. [選択中] リスト内のインタフェースを、**CC-SG** でパワー制御操作を実行したい順に並べ替えます。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックしてインタフェースを移動します。
7. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [電源オン]、[電源オフ]、[電源のリセット]、[正常なシャットダウン]、または [中断] を選択します。
8. [操作] フィールドで [電源オン]、[電源オフ]、[正常なシャットダウン]、または [中断] を選択、および [選択中] リストで複数のインタフェースを選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を **0 ~ 120** の秒数で入力します。
9. [OK] をクリックして、インタフェースにパワー操作のリクエストを送信します。確認メッセージが表示されます。
10. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。進行状況を監視できるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておいてください。
11. **CC-SG** からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「**パワー ステータス メッセージ 『49p. 』**」を参照してください。

ノード グループ パワー制御

ノード グループ内のパワー インタフェースが関連付けられたすべてのノードを、電源オン、電源オフ、電源のリセット、正常にシャットダウンすることができます。

この操作は、ノード グループ内のすべてのノードの電源をオフにして、それらのノードが設置されているラックを配線し直しできるようにする必要がある場合、またはノード グループに他のメンテナンスを実行する必要がある場合に便利です。

複数のパワー制御インタフェースを備えたノードのパワー制御操作の設定についての詳細は、『**CC-SG ユーザ ガイド**』の「**複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント 『49p. 』**」を参照してください。

1. [ノード] タブをクリックします。
2. [ノード] > [グループ パワー制御] を選択します。[グループ パワー制御] 画面が表示されます。
3. [ノード グループ] ドロップダウン矢印をクリックし、パワー制御の対象のノード グループをリストから選択します。

4. [利用可能] リストで、パワー制御を実行する対象の特定のインタフェースを選択し、[追加] をクリックして、そのインタフェースを [選択中] リストに移動します。この手順を、すべての必要なインタフェースが [選択中] リストに追加されるまで繰り返します。インタフェースを削除する必要がある場合は、[選択中] リスト内のインタフェースを選択して、[削除] をクリックします。
5. [選択中] リスト内のインタフェースを、CC-SG でパワー制御操作を実行したい順に並べ替えます。[選択中] リストでインタフェースを選択し、そのインタフェースが目的の順序になるように、上下の矢印ボタンをクリックしてインタフェースを移動します。
6. [操作] ドロップダウン矢印をクリックし、リストから [電源オン]、[電源オフ]、[電源のリセット]、[正常なシャットダウン]、または [中断] を選択します。
7. [操作] フィールドで [電源オン]、[電源オフ]、[正常なシャットダウン]、または [Suspend] (中断) を選択した場合は、[シーケンス間隔 (秒)] フィールドにインタフェース間の操作間隔を 0 ~ 120 の秒数で入力します。
8. [OK] をクリックして、選択したインタフェースを介してパワー制御操作のリクエストを送信します。確認メッセージが表示されます。
9. パワー制御操作のステータスを示す [Power Status Messages (パワー ステータス メッセージ)] ウィンドウが表示されます。パワー制御操作に関する新しい情報を受け取ると、ウィンドウにメッセージが表示されます。進行状況を監視できるように、すべてのパワー制御操作が完了するまでこのウィンドウを開いておいてください。

CC-SG からパワー制御操作の成功または失敗の通知を受け取る方法についての詳細は、「**パワー ステータス メッセージ** 『49p. 』」を参照してください。

この章の内容

Access Client を使用したノード チャット	56
Admin Client を使用したノード チャット	56

Access Client を使用したノード チャット

同じノードに接続している他のユーザとチャットできます。参加者は誰でもチャット セッションを終了することができます。ただし、チャットを開始したユーザがセッションを終了した場合、チャット セッション全体が終了し、すべてのチャット ウィンドウが閉じられます。自分が開始していないチャット セッションを終了する場合は、後でまだそのチャットがアクティブであれば再び参加できます。

1. 左パネルのノード リストのいずれかで、チャット相手のユーザが接続しているノードをクリックします。[ノードの詳細] 画面が表示されます。
2. [インタフェース] セクションの下に [チャットの開始] をクリックします。[チャット] ダイアログが表示されます。
3. 一番下のボックスにメッセージを入力し、[送信] をクリックします。
4. チャット セッションを終了するには [終了] をクリックします。

Admin Client を使用したノード チャット

チャットにより、同じノードに接続されているユーザが互いに通信できます。ノードでチャット セッションを開始するには、そのノードに接続されている必要があります。同じノード上のユーザのみが、互いにチャットすることができます。

▶ チャット セッションに参加するには

1. [ノード] タブをクリックします。
 2. 現在接続しているノードを右クリックし、[チャット] をクリックします。セッションが作成されていない場合は、[チャット セッションの開始] をクリックします。チャット セッションが作成されます。
- チャット セッションがすでに実行中の場合は、ノードを右クリックして [チャット]-[チャット セッションの表示] を選択し、チャット セッションに参加します。

チャット セッション ウィンドウが表示され、ウィンドウの左側にはメッセージ フィールドが、右側にはチャット セッションに参加中のユーザのリストが表示されます。

3. 新しいメッセージのフィールド (左下) にメッセージを入力し、**Enter** キーを押すか、[送信] をクリックします。すべてのユーザに表示されるよう、メッセージがチャット フィールド (左上) に表示されます。
4. 新しいメッセージ フィールドに入力したが、まだ送信していないメッセージをクリアするには、[クリア] をクリックします。チャット フィールドは [クリア] によってはクリアされません。
5. [閉じる] をクリックしてチャット セッションから出るか、チャット セッションを終了します。
6. チャット セッションを閉じるかどうかの確認プロンプトが表示されます。[はい] をクリックして、全参加者のすべてのチャット セッションを閉じます。または、[いいえ] をクリックして、チャット セッションは終了するが、他のユーザ用にチャット セッションを実行したままにしておきます。

[ノード] タブから、全参加者のチャット セッションを閉じることもできます。チャット セッションを実行しているノードを右クリックし、[チャット]-[チャット セッションの終了] を選択します。

この章の内容

Access Client のプロフィール	58
Admin Client のプロフィール	59

Access Client のプロフィール

[プロフィール] タブでは、パスワード、電子メール アドレス、デフォルトのノード リストを変更できます。

パスワードの変更

アカウントがローカルで認証される場合は、自分でパスワードを変更できます。アカウントに対してリモート認証が使用されている場合は、管理者に連絡してパスワードを変更してもらってください。

▶ パスワードを変更するには

1. [プロフィール] タブをクリックします。[プロフィール] 画面が表示されます。
2. [パスワードの変更] チェックボックスをオンにして、パスワード フィールドを有効にします (ローカル認証の場合のみ)。
3. [旧パスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。
4. [新しいパスワード] フィールドと [パスワード再入力] フィールドに新しいパスワードを入力します。
5. [OK] をクリックします。

注: [新しいパスワード] フィールドの上に [強力なパスワードが必要です] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを有効にしています。強力なパスワードは 8 文字以上で、管理者が定義した条件を満たさなければなりません。

[新しいパスワード] フィールドの隣に [強力なパスワードは必要ありません] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを無効にしています。パスワードを 6~16 文字の間で設定してください。

電子メール アドレスの変更

[プロファイル] 画面の [電子メールアドレス] フィールドには、CC-SG ユーザ ID に現在関連付けられている電子メール アドレスが表示されます。

1. [プロファイル] タブをクリックします。[プロファイル] 画面が表示されます。
2. [電子メール アドレス] フィールドに新しい電子メールアドレスを入力します。
3. [OK] をクリックします。

デフォルトのノード リストの設定

[プロファイル] の [デフォルトのノード リスト] フィールドでは、ログイン時に左パネルで表示するノード リストを定義します。

1. [プロファイル] タブをクリックします。[プロファイル] 画面が表示されます。
2. [デフォルトのノード リスト] ドロップダウン矢印をクリックして、[すべてのノード]、[お気に入り]、[最近使用] のいずれかを選択します。
3. [OK] をクリックしてデフォルトのノード リストの選択を保存します。

Admin Client のプロファイル

[プロファイル] からは、CC-SG のパスワードと電子メール アドレスの変更、CC-SG の表示フォント サイズの調整、およびデフォルトの検索タイプ設定を設定できます。パスワードの変更を強制されるまでのパスワードの使用期間も確認できます。

パスワードの変更

アカウントがローカルで認証される場合は、自分で CC-SG パスワードを変更できます。アカウントに対してリモート認証が使用されている場合は、管理者に連絡してパスワードを変更してもらってください。

CC-SG 管理者は、パスワードの定期的変更を強制するように CC-SG を設定できます。

▶ パスワードを変更するには

1. [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示されます。
2. [パスワードの変更] チェックボックスをオンにして、パスワード フィールドを有効にします (ローカル認証の場合のみ)。

3. [旧パスワード] フィールドに現在のパスワードを入力します。
4. [新しいパスワード] フィールドと [パスワード再入力] フィールドに新しいパスワードを入力します。

注: [新しいパスワード] フィールドの上に [強力なパスワードが必要です] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを有効にしています。強力なパスワードは 8 文字以上で、管理者が定義した条件を満たさなければなりません。[新しいパスワード] フィールドの隣に [強力なパスワードは必要ありません] というテキスト ラベルが表示されている場合、管理者が強力なパスワードを無効にしています。パスワードを 6~16 文字の間で設定してください。

5. [OK] をクリックして新しいパスワードを設定します。

電子メール アドレスの変更

1. [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示されます。
2. [電子メール アドレス] フィールドに新しい電子メールアドレスを入力します。
3. [OK] をクリックします。

CC-SG フォント サイズの変更

CC-SG の画面に表示されるすべてのテキストには、選択したフォント サイズが使用されます。

1. [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示されます。
2. [フォント サイズ] ドロップダウン矢印をクリックして、CC-SG の画面で表示するフォント サイズを選択します。
3. [OK] をクリックします。

検索設定の設定

CC-SG には、[検索結果でフィルタ] および [一致する文字列の検索] という 2 種類の検索タイプがあります。検索設定は [プロファイル] で設定できます。

- [検索結果でフィルタ]: 検索条件を入力して [検索] をクリックすると、その検索条件に一致するノードが一覧表示されます。この検索タイプではワイルドカード (*) を使用できます。
- [一致する文字列の検索]: 検索条件を入力すると、ノード リスト内の、その検索条件に最も一致するノードがハイライトされます。[検索] ボタンはありません。この検索タイプではワイルドカード (*) は使用できません。

▶ 検索設定を設定するには

1. [Secure Gateway] > [プロファイル] を選択します。[プロファイル] 画面が表示されます。
2. [検索設定] パネルで、使用する検索タイプに対応するラジオ ボタンをクリックします。
3. [OK] をクリックします。

Admin Client では、次のショートカット キーを使用できます。

操作	ショートカット キー
更新	F5
パネルの印刷	Ctrl + P
ヘルプ	F1

- Web ブラウザから CC-SG を起動するには、Java プラグインが必要です。お使いのマシンに必要なバージョンがインストールされていない場合、CC-SG によりインストール手順のガイドが表示されます。お使いのマシンに Java プラグインがインストールされていない場合、CC-SG は自動的に起動できません。この場合は、古い Java バージョンをアンインストールするか無効にしてから、CC-SG にシリアル ポート接続を設定して正しく機能するようにします。
- CC-SG アプレットがロードされない場合は、Web ブラウザ設定を調べてください。
 - Internet Explorer で Java (Sun) が有効になっていることを確認します。
 - コントロール パネルで Java プラグインを開き、ブラウザの設定を調整します。
- デバイスの追加に問題がある場合は、デバイスのファームウェアのバージョンが適正かどうかを確認します。
- デバイスと CC-SG の間のネットワーク インタフェース ケーブルが切断されている場合、ハートビートに設定されている時間 (分) だけ待ってから、もう一度ネットワーク インタフェース ケーブルを接続します。設定されたハートビート期間中、デバイスはスタンバイ モードで動作し、RRC、MPC、または RC からアクセスできます。
- クライアントのバージョンがサーバのバージョンと異なり、予測できない動作が発生する可能性があるなどのエラー メッセージが表示される場合は、ブラウザのキャッシュと Java キャッシュをクリアして、ブラウザを再起動してください。「**ブラウザ キャッシュのクリア** 『65p. 』」および「**CJava キャッシュのクリア** 『64p. の"Java キャッシュのクリア"参照 』」を参照してください。
- Internet Explorer の使用中に MPC インタフェースを介した KX2 ポートへのアクセスで問題が発生する場合は、ブラウザのキャッシュをクリアして、ポートに再アクセスする必要があります。「**ブラウザ キャッシュのクリア** 『65p. 』」を参照してください。
- メモリの使用率が劇的に増加するか、ブラウザ セッションがアクションに対する応答を中止した場合は、クライアントの Java ヒープサイズを増やす必要がある可能性があります。
 - a. コントロール パネルで Java プラグインを開きます。
 - b. [Java] タブをクリックします。
 - c. [Java アプレットのランタイム設定] グループ ボックス内の [表示] をクリックします。

- d. 実行している現在の Java バージョンの行を選択し、[Java ランタイム パラメータ] 列に「-Xmx<size>m」と入力します。たとえば、Java ヒープ サイズを最大の 300 MB に増やす場合は、「-Xmx300m」と入力します。

Java ヒープ サイズをクライアント コンピュータのメモリの半分より多い値に設定することはお勧めできません。たとえば、クライアント コンピュータに 1.0 GB の RAM が搭載されている場合は、パラメータを -Xmx512m 以下に設定します。

- 同じクライアントと Firefox を使用して複数の CC-SG ユニットにアクセスすると、証明書が無効であることを知らせる「Secure Connection Failed (セキュアな接続に失敗しました)」というメッセージが表示されることがあります。ブラウザから無効な証明書を削除すると、アクセスを再開できます。
 - a. Firefox で [ツール] > [オプション] を選択します。
 - b. [詳細] をクリックします。
 - c. [暗号化] タブをクリックします。
 - d. [証明書を表示] をクリックし、リストで「Raritan」を検索します。
 - e. [CommandCenter] を選択し、[削除] をクリックします。[OK] をクリックして確認します。

この章の内容

Java キャッシュのクリア	64
ブラウザ キャッシュのクリア	65
Firefox 3.0 での VMware プラグインのインストール	65

Java キャッシュのクリア

Java のバージョンおよびオペレーティング システムの種類によっては、手順が若干異なる場合があります。

▶ Java 1.6 搭載 Windows XP の場合:

1. [コントロール パネル] > [Java] を選択します。
2. [全般] タブで [設定] をクリックします。
3. 開いたダイアログ ボックスで [ファイルの削除] をクリックします。
4. [アプリケーション] および [アプレット] チェックボックスが選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。

ブラウザ キャッシュのクリア

この手順は、ブラウザのバージョンによって若干異なります。

▶ **Internet Explorer** でブラウザ キャッシュをクリアするには、以下の手順に従います。

1. [ツール]>[インターネット オプション] を選択します。
2. [全般] タブで、[ファイルの削除] をクリックして、[OK] をクリックして確認します。

▶ **FireFox 2.0 および 3.0 の場合の手順:**

1. [ツール]>[プライバシー情報の消去] を選択します。
2. [キャッシュ] が選択されていることを確認して、[今すぐ消去] をクリックします。

Firefox 3.0 での VMware プラグインのインストール

VMW Viewer インタフェースにアクセスするには、VMware MKS プラグインをインストールしておく必要があります。Firefox 3.0 ブラウザを使用している場合は、このプラグインのインストールに失敗します。

以下のエラー メッセージが表示されます。

```
Error: Firefox could not install the file at
https://<sm_server_hostname>/StageManager/ControlPanel/Machines/MachineDetails/ActiveXControls/xpihandler.ashx?filename=vmware-mks-windows-ff-3.xpi because:
Install script not found -204 (エラー: Firefox はファイルをインストールできませんでした。URL =
https://<sm_server_hostname>/StageManager/ControlPanel/Machines/MachineDetails/ActiveXControls/xpihandler.ashx?filename=vmware-mks-windows-ff-3.xpi 原因: インストール スクリプトが見つかりません - 204)
```

詳細および回避策については、VMware Knowledge Base の記事番号 1006950 を参照してください。

VMware Knowledge Base は kb.vmware.com にあります。

索引

[

- [お気に入り] ノード リスト - 13, 29
- [すべてのノード] リスト - 13
- [ノード プロファイル] 画面の概要
 - Access Client - 29
 - Admin Client - 31
- [最近使用] ノード リスト - 14
- [最近使用] ノード リストのクリア - 14

A

- Access Client クライアントからログアウトする - 10
- Access Client でのカスタム表示の使用 - 11, 12, 21
- Access Client でのノードの検索と表示 - 11
- Access Client のプロファイル - 58
- Access Client を使用したノード チャット - 29, 56
- Access Client を使用したノードのパワー制御 - 27, 29, 49, 50
- Access Client を使用したノードへの接続 - 27, 28
- Admin Client でのカスタム表示の使用 - 11, 16, 23
- Admin Client でのノードの検索と表示 - 11, 14
- Admin Client のプロファイル - 59
- Admin Client を使用したノード チャット - 56
- Admin Client を使用したノードのパワー制御 - 27, 31, 49, 53
- Admin Client を使用したノードへの接続 - 27, 31
- AKC を使用するため前提条件 - 38

C

- CC-SG Access Client を介したブラウザ ベースのアクセス - 5
- CC-SG Access Client 画面の概要 - 11, 21
- CC-SG Admin Client を介したブラウザ ベースのアクセス - 7
- CC-SG Admin Client 画面の概要 - 15
- CC-SG フォント サイズの変更 - 60

- CC-SG へのアクセス - 3
- Ctrl-Alt-Delete を仮想マシンに送信する - 45

D

- DRAC 5 接続の詳細 - 40

F

- Firefox 3.0 での VMware プラグインのインストール - 43, 65

I

- iLO プロセッサが有効なノードへの接続 - 27, 39

J

- Java RDP 接続の詳細 - 40
- Java キャッシュのクリア - 47, 63, 64
- JRE 非互換性 - 7, 8

M

- Microsoft RDP 接続の詳細 - 41

V

- VI クライアント インタフェースを使用して制御システム ノードまたは仮想ホスト ノードに接続する - 43
- VMW Viewer インタフェースを使用してドライブまたはドライブ イメージをマウントする - 45
- VMW Viewer インタフェースを使用して仮想マシン ノードに接続する - 43, 45
- vSphere 4 ユーザは新しいプラグインをインストールする必要がある - 44

W

- Web ブラウザ インタフェースを介したノードへの接続 - 27, 42

あ

- アウト オブ バンド KVM インタフェースを使用したノードへの接続 - 27, 34

アウト オブ バンド シリアル インタフェースを使用したノードへの接続 - 27, 38
 アクセスの前に - 3
 アップグレード後に古いバージョンのアプリケーションが開く - 47
 インタフェースについて - 27, 33
 インタフェースをブックマークに設定 - 19
 インバンド KVM インタフェースを介したノードへの接続 - 27, 39
 お気に入りからノードを削除 - 14
 お気に入りにノードを追加 - 13
 お気に入りのノードのソート - 13

か

カスタム表示 - 13, 20, 30, 32
 カスタム表示の削除 - 23
 カスタム表示の種類 - 20
 カスタム表示の追加 - 21
 カスタム表示の適用 - 22
 カスタム表示の変更 - 22
 カスタム表示名の変更 - 22
 カテゴリとは - 21
 カテゴリ別の表示 - 20

さ

サポートされている Java Runtime Environment (JRE) バージョンのインストール - 4
 シック クライアント アクセス - 8
 シック クライアントのインストール - 8
 シック クライアントを使用した CC-SG へのアクセス - 10
 ショートカット キー - 62
 シングル ノード パワー制御 - 50, 53

た

ツリー表示 - 16
 デフォルトのカスタム表示の指定 - 23
 デフォルトのカスタム表示をすべてのユーザーに指定 - 23
 デフォルトのノード リストの設定 - 59
 トラブルシューティング - 63

な

ノード アイコン - 16
 ノード グループ パワー制御 - 52, 54
 ノード グループでフィルタ - 21
 ノード グループとは - 21
 ノード チャット - 56
 ノード リスト - 12
 ノードからの切断 - 46
 ノードにアクセスするためのアプリケーション - 27, 32
 ノードのカスタム表示の削除 - 25
 ノードのカスタム表示の追加 - 23
 ノードのカスタム表示の適用 - 24
 ノードのカスタム表示の変更 - 24
 ノードのデフォルトのカスタム表示の指定 - 25
 ノードのデフォルトのカスタム表示をすべてのユーザーに指定 - 26
 ノードの検索 - 14, 17
 ノードの検索で利用できるワイルドカード - 18
 ノードの検索と表示 - 11
 ノードへの接続 - 27
 ノード表示 - 16
 ノード並べ替えオプション - 17

は

はじめに - 1
 パスワードの変更 - 58, 59
 パワー ステータス メッセージ - 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55
 パワー制御 - 48
 パワー制御インタフェースとは - 48
 ブラウザ キャッシュのクリア - 63, 65
 プロファイル - 58
 ポップアップ ブロックの無効化 - 4

漢字

検索設定の設定 - 17, 18, 61
 初めてのシリアル インタフェースへのアクセス - 39
 接続モードについて - 40, 41
 単一のインタフェースからのパワー制御 - 53
 電子メール アドレスの変更 - 59, 60

同じ隣接システムの別の **CC-SG** ユニットへのアクセス - 7

必要条件 - 1

表示される可能性があるエラー メッセージ - 5

複数のインタフェースを備えたノードのパワー制御に関するヒント - 49, 50, 52, 53, 54

名前またはステータスによるノードのソート - 13

用語/略語 - 2

利用可能なセッションの最大数を超える接続 - 47



▶ 米国/カナダ/ラテン アメリカ

月曜日～金曜日
午前 8 時～午後 8 時 (米国東海岸時間)
電話 :800-724-8090 または 732-764-8886
CommandCenter NOC に関するお問い合わせ :6 を押してから 1 を押してください。
CommandCenter Secure Gateway に関するお問い合わせ :6 を押してから 2 を押してください。
Fax :732-764-8887
CommandCenter NOC に関する電子メール :tech-ccnoc@raritan.com
その他のすべての製品に関する電子メール :tech@raritan.com

▶ 中国

北京
月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 6 時 (現地時間)
電話 :+86-10-88091890

上海
月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 6 時 (現地時間)
電話 :+86-21-5425-2499

広州
月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 6 時 (現地時間)
電話 :+86-20-8755-5561

▶ インド

月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 6 時 (現地時間)
電話 :+91-124-410-7881

▶ 日本

月曜日～金曜日
午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分
電話 :+81-3-3523-5991
電子メール :support.japan@raritan.com

▶ ヨーロッパ

ヨーロッパ
月曜日～金曜日
午前 8 時 30 分～午後 5 時 (GMT+1 CET)
電話 :+31-10-2844040
電子メール :tech.europe@raritan.com

英国
月曜日～金曜日
午前 8 時 30 分～午後 5 時 (GMT)
電話 :+44(0)20-7090-1390

フランス
月曜日～金曜日
午前 8 時 30 分～午後 5 時 (GMT+1 CET)
電話 :+33-1-47-56-20-39

ドイツ
月曜日～金曜日
午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分 (GMT+1 CET)
電話 :+49-20-17-47-98-0
電子メール :rg-support@raritan.com

▶ メルボルン (オーストラリア)

月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 6 時 (現地時間)
電話 :+61-3-9866-6887

▶ 台湾

月曜日～金曜日
午前 9 時～午後 6 時 (標準時 : GMT -5、夏時間 : GMT -4)
電話 :+886-2-8919-1333
電子メール :support.apac@raritan.com